

The Oracle logo is displayed in a bold, red, sans-serif font. A horizontal line is positioned directly below the logo.

ORACLE®

ATG WEB COMMERCE

バージョン 11.1

ATG コンテンツ管理ガイド

Oracle ATG
One Main Street
Cambridge, MA 02142
USA

ATG コンテンツ管理ガイド

ドキュメントのバージョン

Doc11 PUBBUSINESSv1 04/15/2011

Copyright

Copyright © 1997, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this software or related documentation is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software or hardware is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications that may create a risk of personal injury. If you use this software or hardware in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure its safe use. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software or hardware in dangerous applications.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark licensed through X/Open Company, Ltd.

This software or hardware and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.

For information about Oracle's commitment to accessibility, visit the Oracle Accessibility Program website at <http://www.oracle.com/us/corporate/accessibility/index.html>.

Oracle customers have access to electronic support through My Oracle Support. For information, visit <http://www.oracle.com/support/contact.html> or visit <http://www.oracle.com/accessibility/support.html> if you are hearing impaired.

目次

1	はじめに	1
2	概要	3
	特徴.....	3
	用語.....	3
	プロジェクト・ワークフロー	4
3	スタート・ガイド	7
	Business Control Center へのアクセス.....	7
	Business Control Center の概要	8
4	Business Control Center ホームページの使用.....	11
	操作.....	12
	ATG Content Administration	12
	パーソナライズ	12
	To Do.....	13
5	プロジェクトの作成と管理.....	15
	プロジェクト・タイプとワークフロー	15
	緊急ワークフロー	17
	プロジェクトの表示.....	17
	プロジェクトの要約.....	18
	プロジェクトのソート	18
	プロジェクトのフィルタリング	18
	編集不可なプロジェクト.....	19
	プロジェクトの作成.....	20
	プロジェクトへのノートの追加	20
	プロジェクトの削除.....	22
	「プロパティ」タブの使用	22
6	タスクの管理	23
	タスクの表示	23
	タスクの割当	24
	タスクのリリース	25

ユーザー・ロールとタスク所有権	26
タスクの完了	26
7 アセットの作成と管理	29
プロジェクト・アセットのライフサイクル	29
アセットの表示	31
プロジェクト・アセットの表示	31
すべてのバージョン設定されたアセットの参照	32
アセットの作成	32
プロジェクトへのアセットの追加	33
新規アセットの追加	34
既存のアセットの追加	35
「アセットの参照」ページからのアセットの追加	35
アセットの編集	36
Business Control Center でのアセットの編集	36
サード・パーティ・アプリケーションでのアセットの編集	36
シナリオ・アセットとスロット・アセットの編集	37
アセットのバージョン設定	39
アセット・バージョンの番号付け	39
アセットのチェックイン	39
アセットの競合の解決	40
アセットのバージョンの比較	41
アセットの配置	42
アセットのロック	42
アセットのロックの解決	43
1 回限りのターゲットへの配置	44
アセット・タイプ	44
バイナリ・ファイル・アセット	45
テキスト・ファイル・アセット	46
ユーザー・セグメント・アセット	47
シナリオ・アセットとスロット・アセット	47
アセットのリンク付け	49
プロジェクトからのアセットの削除	50
アセットの履歴の表示	50
アセットのプレビュー	51
システムからのアセットの削除	52
索引	53

1 はじめに

このガイドはビジネス・ユーザーを対象読者とし、ATG Content Administration を使用して Web サイト・コンテンツを作成および配置する方法を説明します。次の章から構成されています。

- [概要](#)
- [スタート・ガイド](#)
- [Business Control Center ホームページの使用](#)
- [プロジェクトの作成と管理](#)
- [タスクの管理](#)
- [アセットの作成と管理](#)

関連ドキュメント

関連情報については、次のマニュアルを参照してください。

参照先	情報
『ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide』	ATG Content Administration が含まれたアプリケーションを作成および配置して ATG Content Administration を実行する方法
『ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide』	ATG Content Administration を設定およびカスタマイズする方法
『ATG Web Commerce Business Control Center ユーザーズ・ガイド』	Business Control Center のパーソナライズ機能(特にユーザー・プロフィールとコンテンツ・ターゲット設定機能)の使用方法
『ATG Web Commerce マーチャンダイジング・ガイド』	Commerce アセットおよびターゲット設定機能やコンテンツ・グループなどの様々なパーソナライズ・アセットを編集するためにプロジェクトを作成する方法

2 概要

ATG Content Administration は、Oracle Commerce Platform アプリケーションで必要とされる Web サイト・コンテンツを作成および保守するための完全なアプリケーションです。ATG Content Administration では、作成、承認、配置からなるコンテンツ・ライフサイクルのすべてのステージをユーザーが管理できるため、サイト・コンテンツの開発プロセスが効率化されます。

この章は次の項から構成されています。

- [特徴](#)
- [用語](#)
- [プロジェクト・ワークフロー](#)

特徴

ATG Content Administration は、Web サイト・コンテンツを作成および保守するための Web コンテンツ管理システムです。次のタスクを実行できます。

- コンテンツの作成と編集
- バージョン設定されたコンテンツの保守
- コンテンツ承認プロセスの管理
- Web サイトへのコンテンツの配信

用語

次のリストで、ATG Content Administration で使用される重要な用語を説明します。

アセット: ATG Content Administration の最も基本的なコンポーネントであるアセットは、Oracle Commerce Platform アプリケーションの一部である任意のオブジェクトです。アセットの例には、画像、HTML、テキストおよびバイナリ・ファイルなどのファイル・アセットやフォルダ、シナリオ、スロットなどがあります。Business Control Center でアセットを編集したり、アセットをダウンロードしてサード・パーティ・アプリケーションで編集したりできます。詳細は、「[アセットの作成と管理](#)」を参照してください。

プロジェクト: 互いに関連するアセットのコレクションで、1つの単位として編集、レビューおよび Web サイトへの配置ができるようにまとめられたものです。たとえば、週に1度ポストされるプレス・リリースのコレクションをプロジェクトとすることがあります。個々のプロジェクトは、それぞれのプロジェクト・タイプに対して定義されているワークフローに従って進行します。詳細は、「[プロジェクトの作成と管理](#)」を参照してください。

タスク: たとえば、コンテンツの作成、承認、配置など、プロジェクトのライフサイクル内の1つのステージ。詳細は、「[タスクの管理](#)」を参照してください。

ワークフロー: プロジェクトが完了するまでに順番に実行する必要がある一連のタスク。ワークフローは、タスクが実行される順序、個々のタスクで生じる可能性がある結果および個々のタスクの作業を行えるユーザーを定義します。ワークフローは Business Control Center 外の管理者によって構成されます。ワークフローの表示と作成に関する一般情報については、『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』を参照してください。ATG Content Administration によって使用されるワークフローの詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

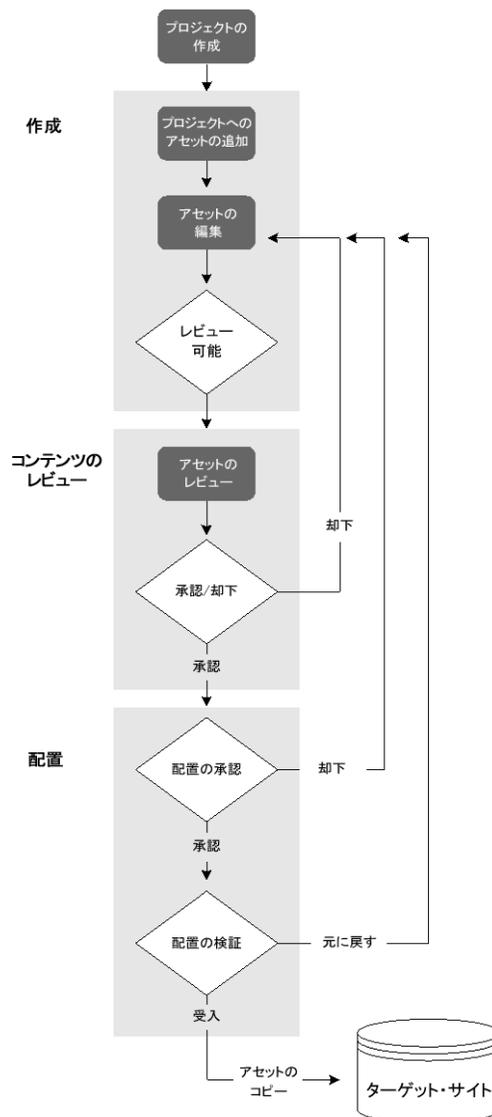
バージョン: ATG Content Administration のバージョン管理システムで保守されるアセットの番号付きインスタンス。ATG Content Administration 内のすべてのアセットがバージョン設定されるため、ユーザーは常に、保存されている最新のアセットのインスタンスにアクセスできます。アセットをプロジェクトに追加してチェックインするたびに、そのアセットに新しいバージョン番号が割り当てられます。詳細は、「[アセット・バージョンの番号付け](#)」を参照してください。

チェックイン: すべてのプロジェクト・アセットがバージョン設定されたリポジトリに発行されて最新バージョンになる、プロジェクトのライフサイクル内のステージ。

配置: プロジェクトのアセットの最新バージョンを実稼働 Web サイトを含む他のサーバーにコピーするプロセス。簡単な説明は、このガイドの「[アセットの配置](#)」を参照してください。詳細な情報は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

プロジェクト・ワークフロー

次の図は、ビジネス・ユーザーがアセットを作成し、それを Web サイトに公開するときに一般的に実行する手順を示しています。手順は、システムに付属のデフォルトのワークフローを使用するプロジェクトのパターンに従っています。



作成者

新しいプロジェクトの最初のタスク。「作成」タスクの実行中、ユーザーはプロジェクトにアセットを追加し、それを編集できます。作成が完了すると、ユーザーは「レビュー可能」を選択してプロジェクトを先へ進めます。

コンテンツのレビュー

このタスクは一般にコンテンツ・レビューを担当する編集者またはマネージャに割り当てられ、タスクの結果には2つの可能性があります。

- コンテンツの承認では、ワークフローが次のタスクである「配置の承認」へ進みます。
- 否認では、プロジェクトが「作成」タスクに戻り、コンテンツがさらに更新されます。

配置

サイトへのアセットの配置は、一般にマネージャまたは管理者に割り当てられ、通常 2 つのタスクから構成されます。

- 「配置の承認」または「承認および配置」では、プロジェクト・アセットをターゲット Web サイトにコピーすることで完了するプロセスが開始されます。ユーザーはプロジェクトを却下し、「作成」タスクに戻ることができます。
- 「配置の検証」では、ターゲットに配置されたプロジェクトを検証した後、プロジェクト・アセットをチェックインして、プロジェクトをクローズします。ユーザーはプロジェクトを元に戻すこともできます。その場合は、ターゲット・サイトが前の状態に戻り、プロジェクトが「作成」タスクに戻ります。

注意: 「作成」や「レビュー」など、図に示した処理と結果のラベルは、インストールされているワークフローのデフォルトのラベルです。これらのラベルはサイトに合わせて再設定できます。

3 スタート・ガイド

この項では、次の初歩的なトピックについて説明します。

- [Business Control Center へのアクセス](#)
- [Business Control Center の概要](#)

Business Control Center へのアクセス

Business Control Center は、すべての ATG Content Administration ビジネス・ユーザー機能とのブラウザベースのインタフェースです。

Business Control Center を使用し、内部の特定の領域にアクセスするには、次のアカウントおよびロールが必要です。

アカウント/ロール	概要
ユーザー・プロファイル	システム管理者によって、ATG Control Center の「パーソナライズ」→「ユーザー」インタフェースで定義されます。 Business Control Center にログインすると、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。入力する値は、ユーザー・プロファイルで指定されているログイン名とパスワードです。
ATG Content Administration ロール	Business Control Center の「パーソナライズ」→「内部ユーザー」→「組織およびロール」インタフェースを通じてユーザー・プロファイルに追加されます。 例: EPub-User または EPub-Manager このロールがなくても Business Control Center にアクセスできますが、すべての ATG Content Administration 機能にアクセスするには、このロールが必要です。詳細は、「 タスクの管理 」を参照してください。
ATG Portal ロール	Business Control Center フレームワークへのアクセスを可能にします。例: 100001-member このロールも、「パーソナライズ」→「ユーザー」→「組織およびロール」インタフェースを通じて割り当てられます。この場合、適切なロールは「グローバル・ロール」→Bizui フォルダに置かれます。

Business Control Center にアクセスするには

1. バージョン設定されたアセットが格納されているデータベースが実行されていることを確認します。

評価のために、Oracle Commerce Platform とともにインストールされた MySQL データベースを起動します。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Oracle Commerce Platform 11.1」→「Tools」→「Start MySQL Server」

- バージョン設定されたアセットの作成と管理に使用する ATG Content Administration モジュールが含まれたアプリケーションが実行されていることを確認します。評価用のモジュールは **PubPortlet** です。アプリケーション・アセンブリと Oracle Commerce Platform モジュールの詳細は、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

ステージング・サーバーまたは実稼働環境サーバー（ターゲット・サイトとも呼ばれる）用に使用する ATG Content Administration アプリケーションを実行するときの手順は、ここに記載された手順と異なることに注意してください。詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

- ATG Content Administration が実行されているサーバーに Web ブラウザでアクセスします。

`http://hostname:port/atg/bcc`

説明:

- hostname* は、ATG Content Administration アプリケーションが実行されているサーバーの名前です。
- port* は、アプリケーション・サーバーが HTTP 要求のリスニングに使用するポートです。たとえば、デフォルト・ポートを使用する JBoss 上の URL は次のようになります。

`http://anycorp.androcles:8080/atg/bcc`

デフォルト・ポートの詳細は、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

- Business Control Center ログイン・ダイアログ・ボックスが表示されたら、ユーザー・プロファイルで定義されている大/小文字が区別されるログイン名とパスワードを入力します。管理者向けにデフォルトの **admin** プロファイルが用意されています。詳細は、『[ATG Web Commerce Business Control Center Administration and Development Guide](#)』を参照してください。

Business Control Center の概要

Business Control Center は、ATG Content Administration を含む Oracle Commerce Platform を構成する複数の製品の機能へのアクセスに使用される HTML ベースのページのセットです。ビジネス・ユーザーにとっては、ここが ATG Content Administration の主なユーザー・インタフェースになります。

Business Control Center には次の作業領域があります。

ホームページ: ユーザーに割り当てられている現在の ATG Content Administration プロジェクトとタスクをリストします。個々のタスクはタスク編集領域へのリンクです。ホームページには、Business Control Center のよく使用される機能領域へのリンクも含まれています。このページはカスタマイズ可能であるため、他の要素が表示されることもあります。詳細は、『[Business Control Center ホームページの使用](#)』を参照してください。

「使用可能なプロジェクト」ページ: ATG Content Administration プロジェクトの作成と作業への入口です。セッション中に初めてこのページが表示されると、ユーザーがアクセスできるすべてのアクティブなプロジェクトがリストされます。個々のプロジェクト名は、次のタブが含まれた「プロジェクト」ページにリンクしています。

プロジェクト・タブ	目的
タスク	プロジェクトにタスクを割り当て、ユーザーに割り当てられた任意のタスクのステータスを変更します。詳細は、「 タスクの管理 」を参照してください。
アセット	アセット、つまりプロジェクトで必要とされるファイルやその他の補助的なオブジェクトを作成し、管理します。「 アセットの作成と管理 」を参照してください。
履歴	プロジェクトに関連付けられたコメントやその他の情報の作成および参照を行います。このタブの詳細は、「 プロジェクトの作成と管理 」を参照してください。
プロパティ	サイト開発者が ATG Content Administration コードを拡張し、カスタム・プロジェクト・データを含めた場合に使用できます。詳細は、「 「プロパティ」タブの使用 」を参照してください。

「[アセットの参照](#)」ページ: システム内の任意のアセットのチェックイン・バージョンの検索と表示に使用します（「[すべてのバージョン設定されたアセットの参照](#)」を参照してください）。

「[管理コンソール](#)」ページ: システム管理者が配置の構成と管理に使用します。このページは、適切なセキュリティ・アクセスを持つユーザーに対してのみ表示されます。このページを表示し、使用方法については、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

ブラウザの「戻る」ボタンの使用

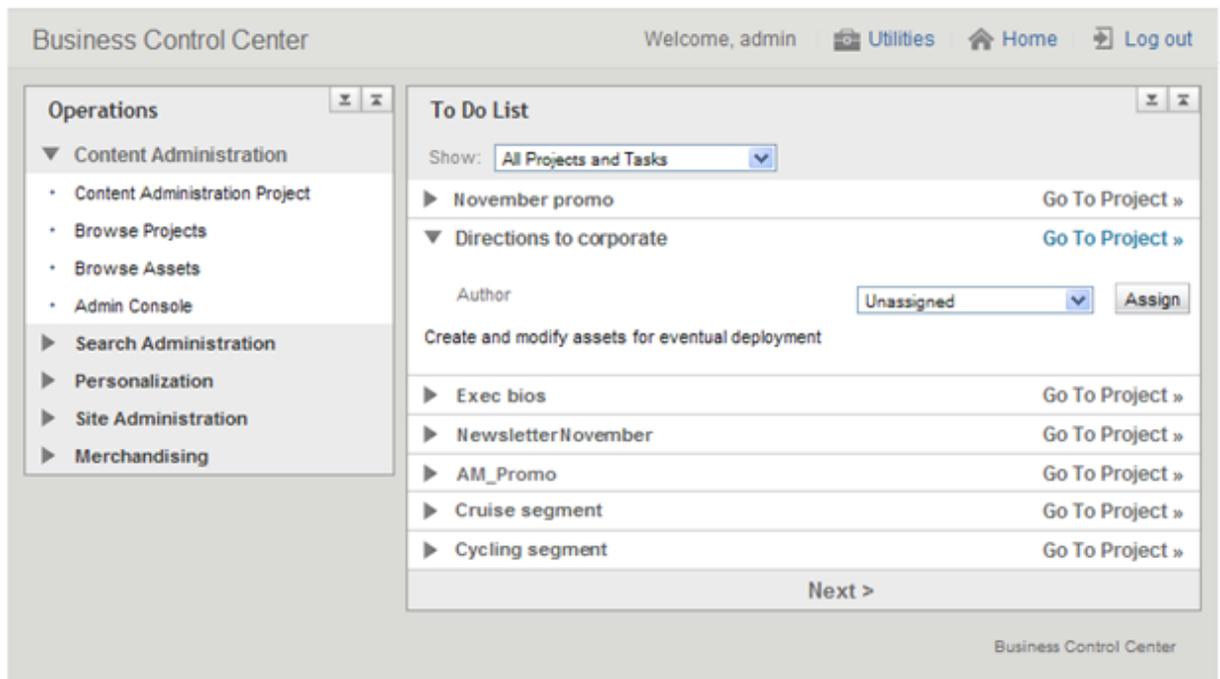
予期しない結果やエラーが発生する可能性があるため、ブラウザの「戻る」ボタンを使用して前のページに戻ることはお薦めできません。そのかわりに、Business Control Center に付属のリンクやその他のナビゲーション・コントロールを使用して、Business Control Center で別のページへ移動してください。

「戻る」ボタンを使用した後、エラーが表示された場合は、ブラウザを閉じて、再起動してください。

4 Business Control Center ホームページの使用

Business Control Center ホームページは、初めてログインすると表示されます。ホーム・リンクをクリックすることで、いつでもホームページを表示できます。このページのコンテンツは組織に合わせてカスタマイズでき、ページの外観もインストールされている製品によって異なります。

次の図は、サンプル・データが挿入されたデフォルトのホームページを示しています。



ホームページでは、アクティブなプロジェクトに関する要約情報が表示され、頻繁に使用する ATG Content Administration の領域に簡単にアクセスできます。デフォルトでは、ページに 2 つのリストが含まれています。

- 「操作」には、たとえば、ATG Content Administration 用に構成されたプロジェクト・タイプなど、ユーザーがアクセスできる Oracle Commerce Platform アプリケーションで実行できるアクティビティへのリンクが含まれています。Merchandising など、他の Oracle Commerce Platform アプリケーションにアクセスできる場合、リストにはそれらのアプリケーションの機能へのリンクも含まれます。
- 「To Do」には、アクティブなプロジェクトおよび個々のプロジェクトで現在アクティビティを待機しているタスクが表示されます。

操作

「操作」リストには、Business Control Center でよく使用される機能へのリンクが含まれています。デフォルトでは、「操作」リストには 2 つのリンクが表示されます。

- [ATG Content Administration](#)
- [パーソナライズ](#)

Business Control Center フレームワークを拡張する他の製品が Oracle Commerce Platform インストールに含まれている場合は、追加の項目が「操作」の下に表示されます。

注意:「操作」リストに項目が何も表示されない場合は、Oracle Commerce Platform セッションが失効している可能性があります。その場合は、Business Control Center からログアウトした後、再びログインします。

ATG Content Administration

このエントリの下のおプションでは、ATG Content Administration 機能にアクセスできます。

- ATG Content Administration 環境で作成対象として設定されているプロジェクト・タイプ。新しいプロジェクトを開始するときに、これらのオプションの 1 つをクリックします。デフォルトでは、ATG Content Administration プロジェクトという 1 つのオプションのみが表示されます。詳細は、「[プロジェクトの作成と管理](#)」を参照してください。

プロジェクト・タイプ項目へのアクセスは、基礎となるワークフローのセキュリティ構成によって決まります。プロジェクト・タイプがない場合は、対応するワークフローへの「実行」アクセスが可能なロールがユーザー・プロファイルに割り当てられているかどうかを確認してください。詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』の「プロジェクトとワークフローのセキュリティ」を参照してください。

- 「[プロジェクトの参照](#)」は、オープンしているプロジェクトをリストする「使用可能なプロジェクト」ページにリンクしています。「[プロジェクトの作成と管理](#)」を参照してください。
- 「[アセットの参照](#)」では、システム内の任意のアセットのチェックイン・バージョンを検索および表示できます。「[すべてのバージョン設定されたアセットの参照](#)」を参照してください。
- 「[管理コンソール](#)」では、システム管理者が配置を設定および管理できます。『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

最後の 3 つの項目へのアクセスは、PublishingActivities.xml ファイルによって制御されます。詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

パーソナライズ

このエントリの下のおプションでは、様々な「パーソナライズ」機能にアクセスできます。次の項目の管理に使用します。

- ユーザー・プロファイル、組織およびロール
- ユーザー・セグメント
- コンテンツ・グループ
- コンテンツ・ターゲット設定機能

これらの機能については、『[ATG Web Commerce Business Control Center ユーザーズ・ガイド](#)』で説明しています。

To Do

「To Do」リストには、アクティブな ATG Content Administration プロジェクトおよび個々のプロジェクトの現在のタスクが表示されます。「表示」リストは、様々なプロジェクト・フィルタを備えています。

- 「**自分のタスクを含むプロジェクト**」では、ユーザーに割り当てられているアクティブなタスクが含まれたプロジェクトのみが表示されます。ユーザーが現在のタスクに割り当てられていないかぎり、このリストからはユーザーが作成したすべてのプロジェクトが除外されます。
- 「**すべてのプロジェクトおよびタスク**」では、すべてのアクティブなプロジェクトおよび個々のプロジェクトで現在アクティブなタスクが表示されます。
- 「**自分が作成したプロジェクト**」では、ユーザーが作成したすべてのアクティブなプロジェクトが表示されます。
- 「**未割当のタスクを含むプロジェクト**」では、現在のタスクがだれにも割り当てられていないアクティブなプロジェクトが表示されます。

完了したプロジェクトとアクティブなプロジェクトの両方を表示する場合、または特定のプロジェクトを検索する場合は、「使用可能なプロジェクト」ページを使用します。このページを表示するには、「操作」リストの「プロジェクトの参照」をクリックします。詳細は、「[プロジェクトの作成と管理](#)」を参照してください。

だれかにタスクを割り当てたり、既存の割当を変更するには、ドロップダウン・リストから適切な名前を選択し、「割当」をクリックします。「タスク」タブを使用して、これを実行することもできます。詳細は、「[タスクの管理](#)」を参照してください。

「プロジェクトに進む」をクリックすると、そのプロジェクトの「プロジェクト」ページへ移動します。詳細は、「[プロジェクトの作成と管理](#)」を参照してください。

タスク名をクリックすると、すべてのタスク関連アクティビティを実行するための主要なインターフェースであるプロジェクトの「タスク」タブへ移動します。たとえば、タスクのステータスを変更する場合、または完了していないタスクを含むプロジェクト内のすべてのタスクを表示する場合は、「タスク」タブを使用します。詳細は、「[タスクの管理](#)」を参照してください。Merchandising など、追加の Oracle Commerce Platform アプリケーションを実行している場合は、タスク名をクリックしたときの動作が異なることに注意してください。

注意: Internet Explorer を使用していて、IBM WebSphere または Oracle WebLogic アプリケーション・サーバーで ATG Content Administration を実行している場合は、新しいプロジェクトを作成した後、ホームページの「To Do」リストにそのプロジェクトが表示されないことがあります。問題の原因は、Internet Explorer のページ・キャッシュ機能が自動的に働くことにあります。問題を解決するには、Internet Explorer で「ツール」→「インターネット オプション」→「全般」→「閲覧の履歴」の「設定」を選択します。保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認オプションの選択を「自動的に確認する」から「Web サイトを表示するたびに確認する」に変更します。

5 プロジェクトの作成と管理

ATG Content Administration のすべてのビジネス・ユーザー・アクティビティは、プロジェクトの一部として実行されます。プロジェクトは 2 つの補完的な目的を果たします。

- 互いに関連するアセットのコンテナとして機能すること。
- アセット管理タスクのフローと割当を制御すること。プロジェクト・タスクには、一般に、コンテンツの作成、編集、レビュー、承認および配置が含まれます。

プロジェクトを作成するときは、使用するプロジェクト・タイプを指定します。個々のプロジェクト・タイプが、プロジェクト・タスクと、その実行順序を決定するワークフローを持っています。技術的な詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

プロジェクトが完了すると、プロジェクトのアセットが ATG Content Administration のバージョン設定されたりポジトリにチェックインされます。チェックインされたアセットは最新バージョンになります。プロジェクト・アセットは、実稼働サイトへのプロジェクトの配置が完了し、プロジェクトが完了としてマークされるまで、チェックインされません。

この章では、ATG Content Administration を使用してプロジェクトを管理および構成する方法を説明します。次の項から構成されています。

- [プロジェクト・タイプとワークフロー](#)
- [プロジェクトの表示](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトへのノートの追加](#)
- [プロジェクトの削除](#)
- [「プロパティ」タブの使用](#)

プロジェクト・タイプとワークフロー

個々のプロジェクトは、プロジェクトのテンプレートとして機能し、プロジェクトのライフサイクル内の様々なステージを指定するワークフローによって制御されます。これらのステージには、**Business Control Center** に表示される個々のプロジェクトのタスクが含まれます。

ATG Content Administration はデフォルトで 1 つのワークフローを備えており、それをプロジェクト・タイプに関連付けることができます。サイトで ATG Content Administration がどのように構成されているかによって、このワークフローは次のどちらかのモデルに従います。

- [実稼働環境専用](#)は、1 つのターゲットへの配置をサポートします。
- [ステージング/実稼働環境](#)は、最初にステージング・ターゲット、次に実稼働環境ターゲットという 2 つのターゲットへの配置をサポートします。

実稼働環境専用

実稼働環境専用ワークフローには次のタスクが含まれています。

タスク	必要とされる処理
作成者	プロジェクト・アセットを追加または編集します。
コンテンツ・レビュー	アセットの変更を承認します。
実稼働環境配置の承認	プロジェクト・アセットの配置を承認します。即時配置または配置の延期を指定できます。延期する場合、実際の配置は、 RecurringDeploymentService または管理者によって開始されます。
実稼働環境配置の完了待ち	処理は不要です。
実稼働環境配置の検証	実稼働環境へのアセットの配置を受け入れます。すべてのアセットがチェックインされ、プロジェクトが完了としてマークされます。

ステージング/実稼働環境

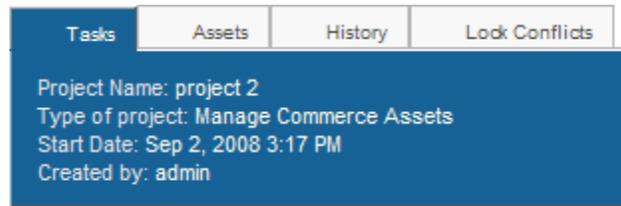
ステージング/実稼働環境ワークフローには次のタスクが含まれています。

タスク	必要とされる処理
作成者	プロジェクト・アセットを追加または編集します。
コンテンツ・レビュー	アセットの変更を承認します。
ステージング配置の承認	ステージング・サイトへのプロジェクト・アセットの配置を承認します。アセットの即時配置を指定するか、 RecurringDeploymentService または管理者による処理まで配置を延期できます。
ステージング配置の完了待ち	処理は不要です。
ステージング配置の検証	ステージング・サイトへのアセットの配置を受け入れます。
実稼働環境配置の承認	実稼働サイトへのプロジェクト・アセットの配置を承認します。アセットの即時配置を指定するか、 RecurringDeploymentService または管理者による処理まで配置を延期できます。
実稼働環境配置の完了待ち	処理は不要です。
実稼働環境配置の検証	実稼働環境へのアセットの配置を受け入れます。すべてのアセットがチェックインされ、プロジェクトが完了としてマークされます。

デフォルトでは、ホームページに ATG Content Administration プロジェクトという 1 つのプロジェクト・タイプしか表示されません。製品スイートに Merchandising などの他の Oracle Commerce Platform アプリケーションが含まれている場合は、追加のプロジェクト・タイプが表示されます。

通常、プロジェクトのワークフローとプロジェクト・アセットの間には関係はありません。任意のタイプと数のアセットを任意のタイプのプロジェクト・ワークフローに追加できます。

「プロジェクト」ページの任意のタブの最上部で、そのプロジェクトのタイプを確認できます。



緊急ワークフロー

「Merchandising」ページから「緊急プロジェクト」を選択すると、緊急ワークフローが起動します。緊急ワークフローは標準プロジェクトと大きく異なり、サイトを変更して数分以内に使用可能にできます。緊急ワークフローを使用するには、正しいセキュリティ設定が必要です。

注意: 緊急プロジェクトは緊急配置のために設計されており、標準配置プロセスの代替として使用しないでください。

緊急ワークフローは、実稼働環境専用と、実稼働/ステージング環境の両方で使用可能です。ただし、緊急プロジェクトには2つのワークフロー・タスクしか含まれません。

- 作成者
- 実稼働環境への配置

ATG Content Administration で使用されるワークフローの詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

プロジェクトの表示

ホームページには「To Do」リストが表示され、それを利用してアクティブなプロジェクトを表示し、アクティブなプロジェクトにアクセスできます。「使用可能なプロジェクト」ページに表示されるプロジェクトの包括的なリストを利用して、特定の基準を満たしているプロジェクトを検索および表示することもできます。

「使用可能なプロジェクト」ページにアクセスするには

1. ホームページを表示します。
2. 「操作」の下の「ATG Content Administration」リストを展開します。
3. 「プロジェクトの参照」をクリックします。「使用可能なプロジェクト」ページが表示されます。

「使用可能なプロジェクト」ページには、作業または表示できるすべてのプロジェクトがリストされます。1つ以上の「リスト・オプション」フィールド(必要に応じて、リスト・オプションが表示されるように右にスクロールします)を設定することによって、プロジェクトをフィルタできます。たとえば、完了したプロジェクトのみ、または自分が作成したプロジェクトのみが表示されるように指定できます。詳細は、この項の後の「[プロジェクトのフィルタリング](#)」を参照してください。

注意: リストに新しいプロジェクトが表示されない場合は、「結果のリフレッシュ」をクリックしてください。

プロジェクトをオープンするには、プロジェクト名をクリックします。

プロジェクトの要約

「使用可能なプロジェクト」ページの次の列に、リストされているプロジェクトの要約情報が表示されます。

- **プロジェクト名**には、このプロジェクトに割り当てられた名前が表示されます。名前はリンクの役割も果たしており、クリックすると、プロジェクト詳細画面が表示されます。
- **プロジェクト・ステータス**には、プロジェクトの現在のステータスが表示されます。ステータスは次のいずれかです。
 - **アクティブなプロジェクト**: プロジェクトは現在作業可能です。配置をトリガーするタスクは未処理の状態を維持します。
 - **プロジェクトの完了**: プロジェクト・アセットが配置されており(または配置を待機しており)、プロジェクトを変更できません。
- **定義**には、プロジェクト・タイプが表示されます。プロジェクトのタイプはプロジェクトのワークフローを決定します。デフォルトのプロジェクト・タイプは、インストールされているワークフローを使用するように初期状態で構成されている ATG Content Administration プロジェクトです。
- **作成者**には、Business Control Center でプロジェクトを作成したユーザー名が表示されます。
- **開始日**には、プロジェクトの作成日が表示されます。
- **編集可能**では、現在変更できない状態になっているプロジェクトに南京錠アイコンが表示されます。プロジェクトは、ライフサイクルの特定のステージで自動的に編集不可になります。詳細は、「[編集不可なプロジェクト](#)」を参照してください。
- **現在のタスク: 所有者**には、現在完了待ちのタスクおよびそのタスクを割り当てられているユーザー名が表示されます。基礎となるワークフローで同時進行タスクが定義されている場合は、複数のタスクが表示されることがあります。例: 画像の作成: Jim Walker およびテキストの作成: Mary O'Brien
個々のタスク・エントリはリンクです。エントリをクリックすると、そのタスクの詳細ページが表示されます。
- **摘要**は、すべてのプロジェクト列にまたがるテキストです。プロジェクト作成者が、必要に応じて、プロジェクト作成時にプロジェクト摘要テキストを入力します(「[プロジェクトの作成](#)」を参照してください)。

プロジェクトのソート

次の列のデータを基準にしてプロジェクトをソートできます。プロジェクト名、作成者、ステータス、開始日。たとえば、「開始日」をクリックすると、最新の開始日から最も古い開始日の順にプロジェクトがソートされます。「開始日」をもう一度クリックすると、ソート順が逆になり、最も古い開始日が一番上に表示されます。

プロジェクトのフィルタリング

「使用可能なプロジェクト」リストに別のプロジェクトのセットを表示したり、特定の基準を満たしているプロジェクトを検索および表示するには、ページ右側の「リスト・オプション」ボックスを使用します。

1 つ以上の「リスト・オプション」フィールドを設定し、「進む」をクリックして、それらの設定を適用できます。

設定	処理
次のステータスを含むプロジェクトの表示	特定のステータスにあるプロジェクトのみを表示します。ドロップダウン・リストにすべての有効なステータスのエントリが表示されます。すべてのプロジェクトを表示するには、このフィールドを「すべてのプロジェクト」に設定します。
プロジェクトのタイプ	選択されたタイプのプロジェクトのみを表示します。ドロップダウン・リストには、サイトで定義されているすべてのプロジェクト・タイプが表示されます。
名前に次を含む	指定した文字がプロジェクト名に含まれているプロジェクトを検索します。このフィールドを空白にすると、すべての名前が検索の対象になります。
すべて/自分のもののみ	すべてのプロジェクトまたは自分が作成したプロジェクトのみを表示します。
1 ページ当たりの結果数	1 ページに表示するプロジェクトの数を設定します。

ヒント: 「使用可能なプロジェクト」リストにプロジェクトが表示されない場合は、「次のステータスを含むプロジェクトの表示」を「すべてのプロジェクト」に設定して、「進む」をクリックしてください。

編集不可なプロジェクト

次の環境では、プロジェクトが編集不可と見なされます。つまり、プロジェクトのアセットの作業バージョンを含めて、プロジェクトが変更できなくなります。プロジェクトが編集不可になる理由を次に示します。

- アクティブなプロジェクトの作成者によるタスクが完了し、プロジェクトが現在「コンテンツ・レビュー」など、後半のステージにある場合

- プロジェクト・ステータスが「完了」の場合

「使用可能なプロジェクト」リストの「編集可能」フィールドでは、編集不可なプロジェクトに南京錠アイコンが表示されます。Business Control Center では、プロジェクト情報を表示できますが、変更を可能にする「タスク」タブと「アセット」タブのコントロールは使用不可になります。

作成者によるタスクが完了しており、プロジェクトのステータスがまだ「アクティブ」であれば、次のタスクである「コンテンツ・レビュー」の結果として「否認」を選択することで、プロジェクトを編集可能なステータスに戻すことができます（「コンテンツ・レビュー」タスクでこの手順を実行するには、ユーザーが所有者グループに属している必要があります）。プロジェクトが作成者によるタスクに戻り、編集が可能になります。詳細は、「[タスクの管理](#)」参照してください。

プロジェクトの作成

プロジェクトを作成するには

1. Business Control Center ホームページを表示します。必要に応じて、「BCC ホーム」をクリックします。
2. 「操作」の下の「ATG Content Administration」リストを展開します。個々のオプションがユーザーの環境で定義されているプロジェクト・タイプに対応しています。
3. 目的のプロジェクト・タイプを選択します。プロジェクト・タイプを選択することによって、新しいプロジェクトが使用するワークフローが決定し、プロジェクトのタスクが定義されます。デフォルトで、すべてのインストールに、インストールされているワークフローを起動するプロジェクト・タイプの ATG Content Administration プロジェクトが付属しています。
4. プロジェクトに 50 文字以下の名前を付けます。必須ではありませんが、他のユーザーが簡単に識別できるように、一意のプロジェクト名を付けた方がよいでしょう。
5. 必要に応じて、プロジェクトの目的を表すテキストを「プロジェクト概要」フィールドに入力します。追加したテキストは、「使用可能なプロジェクト」リストに表示されます。このプロジェクトの作成が終了すると、このテキストは編集または削除できなくなります。
6. 「続行」をクリックします。

この情報を利用してプロジェクトが作成され、プロジェクトの「タスク」タブが表示されます。そのタブで、このプロジェクトのタスクを ATG Content Administration のユーザーに割り当てることができます（「[タスクの割り当て](#)」を参照してください）。

重要: プロジェクトを作成した後、新しいプロジェクトを表示するには、「使用可能なプロジェクト」ページの「結果のリフレッシュ」をクリックします。新しい項目が表示されない場合は、「リスト・オプション」の設定を確認してください（「[プロジェクトのフィルタリング](#)」を参照してください）。

プロジェクトへのノートの追加

プロジェクトの「プロジェクト」ページの「履歴」タブを使用してプロジェクト・ノートを追加できます。プロジェクト・タスクを割り当てられたユーザーはノートを作成できます。プロジェクトのライフサイクル中に発生するイベントを追跡するためにシステムによって自動的にノートが入力されることもあります。たとえば、ユーザーがプロジェクトを作成すると、そのイベントがノートとして自動的に記録され、「履歴」タブに表示されます。

プロジェクト・ノートを表示するには

1. 「使用可能なプロジェクト」ページでプロジェクト名をクリックするか、ホームページで「プロジェクトに進む」をクリックすることによって、「プロジェクト」ページをオープンします。
2. 「履歴」タブを表示します。

Tasks Assets History

Project Name: Exec bios
Type of project: Standard
Start Date: May 20, 2005 2:46 PM
Created by: Ann Henry

Add Note

Author: Ann Henry
Date: May 20, 2005 2:46 PM
Action: create

Author: Ann Henry
Date: May 26, 2005 4:57 PM
Action: Ready for Review

Mary, TC's college name isn't spelled the way he says it is -- let me know what you want to do about that.

「履歴」タブには次の情報が含まれています。

- プロジェクト作成日
- タスク完了日
- タスク完了に関連付けられたユーザーまたはシステムが作成したノート

個々のエントリに次のデータが含まれています。

- 処理を実行したユーザー名
- 処理が発生した日時
- この処理に関連付けられたワークフロー要素の表示名

履歴エントリを作成するには

1. 「ノートの追加」をクリックします。
2. ダイアログで、ノートのテキストを入力します。
注意: このノートを発行すると、ノートの内容を削除または編集できなくなります。
3. 「追加」をクリックします。新しいノートがこのプロジェクトの履歴に追加されます。
4. 「クローズ」をクリックします。ノートが履歴タブの一番下に追加されます。

プロジェクトの削除

アクティブなプロジェクトのみ、つまり配置タスクが保留中のプロジェクトのみを削除できます。アクティブなプロジェクトを削除すると、データベースからプロジェクトとプロジェクトに関連付けられたすべてのオブジェクトが削除されます。プロジェクト・アセットのすべての作業バージョンが破棄されます。

プロジェクトを削除するには、削除者がプロジェクトの現在のタスクの所有者であるか、タスクが未割当になっている必要があります。

アクティブなプロジェクトを削除するには

1. プロジェクトの「タスク」タブへ移動します。
2. 「処理の選択」ドロップダウン・リストから「プロジェクトの削除」を選択します。
3. 「進む」をクリックします。
4. 確認のダイアログ・ボックスが表示されます。
注意: 削除は元に戻せません。プロジェクト・アセットのすべての作業バージョンもシステムから削除されます。
5. 「OK」をクリックします。

「プロパティ」タブの使用

ATG Content Administration をカスタマイズして、追加のデータをプロジェクトに関連付けることができます。この追加のプロジェクト・データは、開発者がアセットとして使用するために定義した任意のカスタム・リポジトリ項目に対応しています（『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください）。

プロジェクトでカスタム・データが定義されている場合は、「プロジェクト」ページに新しい「プロパティ」タブが表示されます。「プロパティ」タブには、プロジェクトに含まれている追加のデータのタイプを管理するためのエディタが含まれています。このタブの使用方法については、開発者またはシステム管理者に問い合せてください。

6 タスクの管理

タスクは、たとえば、コンテンツの作成、承認、実稼働サイトへの配置など、プロジェクトのライフサイクル中にユーザーが実行する手順に相当します。プロジェクトのワークフローは、プロジェクトのタスクとタスクの順番を決定します。

この章はタスクの作業に関する次の項から構成されています。

- [タスクの表示](#)
- [タスクの割当](#)
- [タスクの完了](#)

タスクの表示

タスクを表示する方法は2つあります。

- ホームページの「To Do」リストで、自分またはすべてのユーザーに割り当てられたすべてのアクティブなタスクを表示する方法
- プロジェクトの「タスク」タブを使用して、そのプロジェクトのすべてのタスク(完了、アクティブ、保留中)を表示する方法

プロジェクトの「タスク」タブには、すべてのプロジェクト・タスクとそれぞれのステータスが表示されます。

Tasks			
Assets History Lock Conflicts Project Name: Exec bios Type of project: Content Administration Project Start Date: Feb 16, 2012 7:15:31 PM Created by: admin			
Tasks for Exec bios			
Content Administration Project Tasks	Owner	Actions	
Author	Audrey Lewis <input type="button" value="Assign"/>		
Content Review	Jon Porter <input type="button" value="Assign"/>	Select Action <input type="button" value="Go »"/>	
Approve for Production Deployment	admin <input type="button" value="Assign"/>		
Wait for Production Deployment Completion			
Verify Production Deployment	Unassigned <input type="button" value="Assign"/>		
Wait for Production Revert Deployment Completion			

このタブでは、次のことができます。

- 自分または他のユーザーへのタスクの割当
- 自分に割り当てられたタスクおよび未割当タスクのステータスの変更

プロジェクト・ワークフローとタスク

プロジェクト・タスクのセットとタスクの順番は、プロジェクト・タイプに関連付けられた、プロジェクトの基礎となるワークフローによって決まります。このタスク・リストを変更するには、ACC でワークフローを編集するか、異なるワークフローを使用するプロジェクト・タイプを作成する必要があります。ただし、アクティブなプロジェクトのワークフローは変更できません。変更すると、ワークフローがプロジェクトから切り離され、プロジェクトにアクセスできなくなります。ワークフローの編集については、『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』を参照してください。

タスク割当

「所有者」列には現在のタスクに割り当てられているユーザーが表示されます。一部のタスクは、システムによって実行されるワークフロー内の手順に相当し、所有者を必要としません。その場合、「所有者」列にはドロップダウン・リストが表示されません。タスクの所有者を変更する方法については、「[タスクの割当](#)」を参照してください。

タスク処理

現在のタスクの「処理」列にはドロップダウン・リストが含まれており、そのタスクを完了するための複数のタスク固有のオプションを選択できます。詳細は、「[タスクの完了](#)」を参照してください。

タスクの割当

プロジェクト・タスクに所有者を割り当てるには、「タスク」タブを使用します。自分にタスクが割り当てられると、「自分のタスクを含むプロジェクト」を選択したときに、ホームページの「[To Do](#)」リストにそのタスクが表示されます。そのため、実行する必要がある作業をすばやく識別できます。

未割当タスクは、そのタスクの所有者プールに属する任意のユーザーによって完了できます。割当済タスクはそのタスクの所有者しか完了できません。その他すべてのユーザーは、その間、たとえばプロジェクトにアセットを追加するなどの変更をプロジェクトに加えることができますが、タスクの「処理」コントロールにはアクセスできません。

タスクを他のユーザーに割り当てるには、自分がタスクの所有者プールのメンバーである必要があります。この制約はプロジェクトの作成者にも適用されます。所有者プールの詳細は、「[ユーザー・ロールとタスク所有権](#)」を参照してください。

タスクを割り当てるには

1. 「タスク」タブを表示します。
2. 「所有者」列で、ドロップダウン・リストからユーザーを選択します。
3. 「割当」をクリックします。

ユーザーが「所有者」リストに表示されない場合は、次の条件が満たされているかどうかを確認してください。

- その人のユーザー・プロフィールが存在すること。確認するには
 - ホームページへ移動します。
 - 「操作」の下で、「パーソナライズ」→「ユーザー」を選択します。

- 必要に応じて、プロフィールを作成します。
- そのユーザーのプロフィールに、このタスクへのアクセスを可能にするロールが割り当てられていること
 - どのユーザー・ロールがこのタスクにアクセスできるかを確認します。それには、ATG Control Center (ACC) でプロジェクトのワークフローを表示し、対応するタスク要素のアクセス権限を確認します。
 - ユーザーが目的のロールを持っているかどうかを確認します。それには、ホームページへ移動し、「パーソナライズ」→「ユーザー」→「組織およびロール」へ移動します。

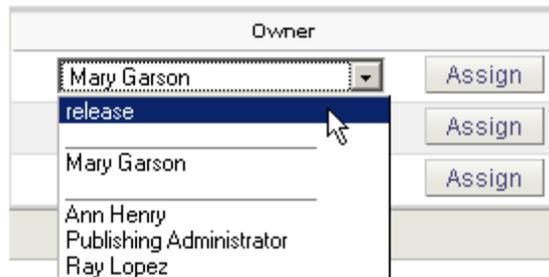
デフォルトのユーザー・ロールのタスク所有権については、この章の「[ユーザー・ロールとタスク所有権](#)」を参照してください。

ATG Control Center の使用方法の詳細は、『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』を参照してください。ユーザー・プロフィールを作成または変更する方法の詳細は、『[ATG Web Commerce Business Control Center ユーザーズ・ガイド](#)』を参照してください。

タスクのリリース

タスクをタスクの所有者からリリースすると、そのタスクは未割当タスクのプールに戻ります。タスクの所有者プールに属する任意のユーザーがタスクをリリースできます。

1. 目的の「タスク」タブへ移動します。
2. タスクの「所有者」ドロップダウン・リストから「リリース」を選択します。
3. 「割当」をクリックします。



タスクの所有者が「未割当」に設定されます。

Business Control Center ホームページでもタスクをリリースできます。

1. ホームページを表示します。
2. リリースするタスクが含まれたプロジェクトが表示されるように、「To Do」リストを変更します。
3. 「所有者」ドロップダウン・リストから「リリース」を選択します。
4. 「割当」をクリックします。

「すべてのプロジェクトおよびタスク」または「未割当タスク」が表示されるように「To Do」リストを変更すると、タスクが表示されます。

ユーザー・ロールとタスク所有権

タスクの所有者プールに属する任意のユーザーがそのタスクにアクセスできます。タスクの所有者プールに属する任意のユーザーがタスクを完了したり、プール内の他のユーザーにタスクを割り当てることができます。所有者プールのメンバーシップは、ワークフローの対応するタスク要素の「アクセス権限の設定」オプションによって決まります。ATG Control Center を使用してこのオプションを表示および設定する方法の詳細は、『ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド』の「ワークフローの使用」を参照してください。

「アクセス権限の設定」オプションには、タスクへのアクセス権限を持っているユーザー・ロールがリストされます。ユーザーには1つ以上のロールを割り当てることができます。アクセス権限を持っているロールが割り当てられている任意のユーザーがそのタスクの所有者プールのメンバーになります。

次のリストは、ATG Content Administration に付属のワークフロー・タスクのデフォルトの所有者プールを示しています。

タスク	所有者プール・ロール
作成者	administrators-group EPub-Admin EPub-Manager EPub-Super-Admin EPub-Usermanagers-group
コンテンツ・レビュー	EPub-Manager EPub-SuperAdmin managers-group
ステージング配置/実稼働環境配置の承認	EPub-Manager EPub-Super-Admin managers-group
ステージング配置/実稼働環境配置の検証	EPub-Manager EPub-Super-Admin EPub-User managers-group

タスクの完了

タスクの作業が終了したら、次の手順に従ってタスクが完了したことをシステムに知らせます。

1. 「タスク」タブを表示します。
2. 「処理」ドロップダウン・リストから適切なオプションを選択します。このコントロールはタスクの所有者にのみ表示されます。タスクが未割当の場合は、所有者プールのメンバーに表示されます。
3. 「進む」をクリックします。
4. 確認のダイアログ・ボックスが表示されたら、必要に応じてコメントを入力し、「OK」をクリックします。

実行可能な「処理」オプションはタスクによって異なり、プロジェクトのワークフロー内の選択可能なタスクの結果によって設定されます。たとえば、インストールされているワークフローの作成者によるタスクでは、タスクの完了を示すオプションとして「レビュー可能」が指定されます。「コンテンツ・レビュー」タスクでは、完了を示すオプションとして「承認」と「否認」の2つが指定されます。詳細は、『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』の「ワークフローの使用」を参照してください。

処理を選択すると、通常、ユーザーがタスクを完了し、次のタスクへプロジェクトを進めようとしていることがシステムに通知されます。ユーザーが「否認」を選択すると、前のタスクが再びアクティブになります。

注意: 配置ターゲットの設定と開始が成功していれば、一部のタスクを完了するために、それらのターゲットが現在アクセス可能になっている必要があります。具体的には、配置用として構成されているターゲットが使用不可になっていると、「コンテンツ・レビュー」タスクを完了できません。「コンテンツの承認」を選択すると、「進む」をクリックしたときにエラーが表示され、次のタスクがアクティブになりません。配置ターゲットの設定の詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

7 アセットの作成と管理

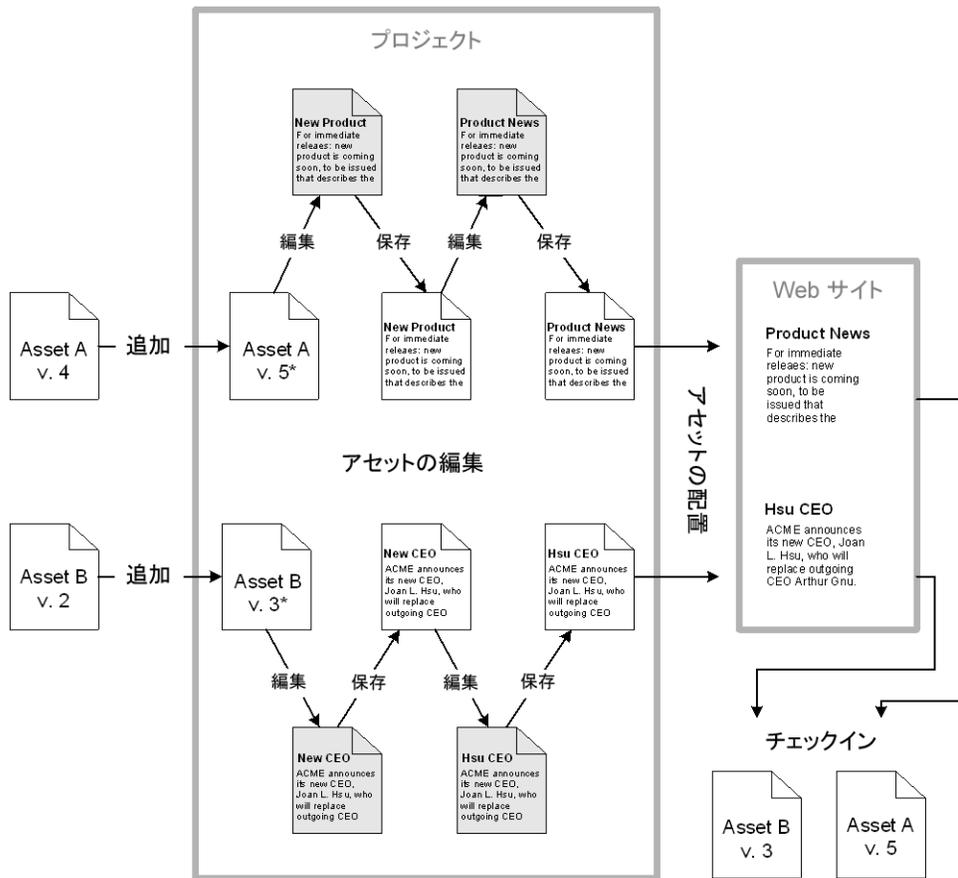
アセットは、Oracle Commerce Platform アプリケーションの一部を形成するオブジェクトです。多くの場合、アセットは、たとえば JPEG 画像やプレス・リリースのテキストが含まれたファイルなど、Web サイトに表示するために作成または編集する必要のあるコンテンツです。ただし、シナリオやスロットなど、サイトの管理またはパーソナライズに使用する要素もアセットであるため、これらの項目も ATG Content Administration を介してサイトに配置する必要があります。

この章では、Business Control Center を使用してアセットを管理および構成する方法を説明します。次の項から構成されています。

- [プロジェクト・アセットのライフサイクル](#)
- [アセットの表示](#)
- [アセットの作成](#)
- [プロジェクトへのアセットの追加](#)
- [アセットの編集](#)
- [アセットのバージョン設定](#)
- [アセットの配置](#)
- [アセット・タイプ](#)
- [アセットのリンク付け](#)
- [プロジェクトからのアセットの削除](#)
- [アセットの履歴の表示](#)
- [アセットのプレビュー](#)
- [システムからのアセットの削除](#)

プロジェクト・アセットのライフサイクル

次の図はプロジェクトがどのようにアセットを使用するかを示しています。この例では、アセット A とアセット B のベース・バージョンがプロジェクト内で改訂され、サイトに配置されます。個々のアセットの配置されたバージョンは、リポジトリ内のアセットのバージョン 2 になります。



次のリストで、アセットのライフサイクルのステージを説明します。

1. プロジェクトへのアセットの追加

アセットをプロジェクトに追加すると、アセットの作業バージョンが自動的に作成されます。アセットが新規アセットの場合、アセットは作業アセットとしてのみ存在します。チェックイン・バージョンは存在しません。新規アセットはプロジェクト内でしか表示されません。

2. プロジェクト・アセットの編集

アセットにはプロジェクトからのみアクセスでき、プロジェクトでアセットを表示、編集、保存できます。作業バージョンに保存した変更はプロジェクト内でのみ表示でき、他のプロジェクトからはアクセスできません。

3. プロジェクト・アセットの配置とチェックイン

ターゲット・サイトへのプロジェクト・アセットの配置が完了し、確認されると、そのプロジェクト・アセットはバージョン設定されたリポジトリにチェックインされます。チェックインされたアセットはプロジェクトとユーザーが使用可能な最新バージョンになります。詳細は、「[アセットのバージョン設定](#)」を参照してください。

アセットの表示

アセットを表示する方法は2つあります。

- プロジェクト・アセットの「アセット」タブを使用した[プロジェクト・アセットの表示](#)
- [すべてのバージョン設定されたアセットの参照](#)

プロジェクト・アセットの表示

「アセット」タブには、すべてのプロジェクト・アセットがリストされ、個々のプロジェクト・アセットの要約情報が表示されます。このタブを使用して、アセットを作成し、編集するページにアクセスすることもできます。

特定のプロジェクトの「アセット」タブを表示するには

1. ホームページまたは「使用可能なプロジェクト」ページからプロジェクトを選択します。
2. 「アセット」タブをクリックします。

Tasks	Assets	History	Lock Conflicts	Project Status: Active	
Project Name: Gift Certificates Type of project: Content Administration Project Start Date: Dec 2, 2011 5:46:02 PM Created by: admin					
Assets Changed in This Project					 Add asset to project
<input checked="" type="checkbox"/>	Asset Name	Type	Base Version	Current Version	Status
<input type="checkbox"/>	Gift Certificate	SKU	2	3	Modified
<input type="checkbox"/>	Gift Certificate	SKU	3	5	Modified
					 Remove assets from project

「アセット」タブには、プロジェクト・アセットに関する次の情報が表示されます。

- **アセット名:** アセットがプロジェクトに追加されたときに指定されたアセットの名前。名前はリンクの役割も果たしており、クリックすると、アセット詳細ページが表示されます。
- **タイプ:** アセット・タイプ。選択できる値については、「[アセット・タイプ](#)」を参照してください。
- **ベース・バージョン:** プロジェクトで作業バージョンの作成に使用されたアセットのバージョン番号。ベース・バージョンは最新のチェックイン・バージョンです。この列に番号が表示されない場合は、アセットが新規アセット（つまり、このプロジェクトの一部として作成されたアセット）であり、作業バージョンしか存在しません。
- **現在のバージョン:** このアセットの作業バージョン番号。
- **ステータス:** プロジェクト内のアセットのステータスを表示します。
 - 作成済: アセットが新規アセットです。作業バージョンはありますが、チェックイン・バージョンはありません。
 - 変更済: このアセットの少なくとも1つのチェックイン・バージョンがすでに存在します（つまり、アセットが他のプロジェクトで使用されたことがあります）。

- 削除済: ATG Control Center を使用して、または Business Control Center の「参照」タブを使用して、アセットの削除処理中です(アセットがプロジェクト内にかぎり、削除を含む変更をアセットに加えることはできないことに注意してください)。アセットをプロジェクトから削除しただけでは、そのアセットは「削除済」として表示されません。詳細は、「[システムからのアセットの削除](#)」を参照してください。

Business Control Center でのアセットの表示は、「マッピングの表示」システムを使用して構成されます。詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』の「アセットの表示のカスタマイズ」を参照してください。

すべてのバージョン設定されたアセットの参照

「アセットの参照」ページでは、バージョン管理システム内の任意のアセットのチェックイン・バージョン(およびバージョン履歴データ)に対して、検索、表示および一部の操作を実行できます。「アセットの参照」ページを使用しなくてもプロジェクトの作成および作業を実行できますが、次の例は、このページの機能を利用する利点を示しています。

- 会社が昨年販売した製品に関する情報を顧客が求めている場合。その品目は現在会社の Web サイトに表示されていませんが、バージョン設定されたアセットとして格納されています。「アセットの参照」ページを使用してアセットを検索し、調べることができます。
- 既存のアセットを新しいプロジェクトに追加する場合。アセットを追加する前に、このアセットが実際に使用したいアセットであるかどうかを確認する必要があります。
- 上司であるマネージャが Web サイト上の記事が間違っていると報告している場合。あなたはそのテキストを修正したと確信していますが、サイトを見ると、加えた変更が反映されていません。あなたは現在チェックインされている記事のバージョンを見て、それが自分の修正したバージョンかどうかを確認したいと思っています。
- バージョン管理システムからアセットを削除する場合。この操作を実行するためのインターフェースは「参照」タブにのみあります。「[システムからのアセットの削除](#)」を参照してください。

「アセットの参照」ページを使用してアセットを検索するには

1. ホームページを表示します。
2. 「操作」リストで ATG Content Administration オプションを展開し、「アセットの参照」をクリックします。「アセットの参照」ページが表示されます。

「検索」タブと「参照」タブが表示され、それらを使用して特定のアセットを検索したり、既存のアセット・ディレクトリを参照したりできます。これらは、プロジェクトにアセットを追加するときに使用するものと同じアセット・ピッカー・タブです。使用方法の詳細は、「[アセットの作成と管理](#)」を参照してください。

アセットの作成

次のデフォルトのアセット・タイプは Business Control Center で直接作成されます。

- シンプルなテキスト・ファイル
- セグメント(プロファイル・グループ)
- Commerce アセット(Merchandising を使用)
- コンテンツ・グループとコンテンツ設定機能

その他のアセット・タイプは他のアプリケーション (ACC やグラフィックス・エディタなどのサード・パーティ・アプリケーション) で作成されます。Business Control Center の「アセット」タブのインターフェースを使用して、それらのアセットを ATG Content Administration に追加できます。

次の表は、様々なタイプの ATG Content Administration アセットの作成、編集および追加に使用されるアプリケーションを示しています。

注意: 使用中のシステムに、ここに記載されていないカスタム・アセット・タイプが含まれていることがあります。

アセットの種類	例	作成と編集	プロジェクトへの追加
シンプルなテキスト・ファイル	.txt ファイル、HTML ファイル	Business Control Center	Business Control Center
Personalization アセット	プロファイル・グループ (ユーザー・セグメント)、コンテンツ・グループ、コンテンツ・ターゲット設定機能	Business Control Center	Business Control Center
シナリオ・アセット	シナリオ、スロット	ACC	Business Control Center
画像ファイル	JPEG	サード・パーティ・アプリケーション	Business Control Center
Commerce アセット	カタログ、価格表、販促	Merchandising	Merchandising

注意: 「親」グループが「子」グループに依存していることを配置システムが検出できず、親子のグループを一緒にして配置するため、ATG Content Administration はネストされたコンテンツ・グループとプロファイル・グループをサポートしていません。

プロジェクトへのアセットの追加

プロジェクト内の少なくとも 1 つのタスクの所有者プールに属している任意のユーザーがそのプロジェクトにアセットを追加できます。アセットを追加するには、作成者によるタスクがアクティブになっている必要があります。タスクの所有者とステータスの詳細は、「[タスクの管理](#)」を参照してください。

次の各項では、Business Control Center の「アセット」タブを使用してプロジェクトにアセットを追加する方法を説明します。

- [新規アセットの追加](#)
- [既存のアセットの追加](#)

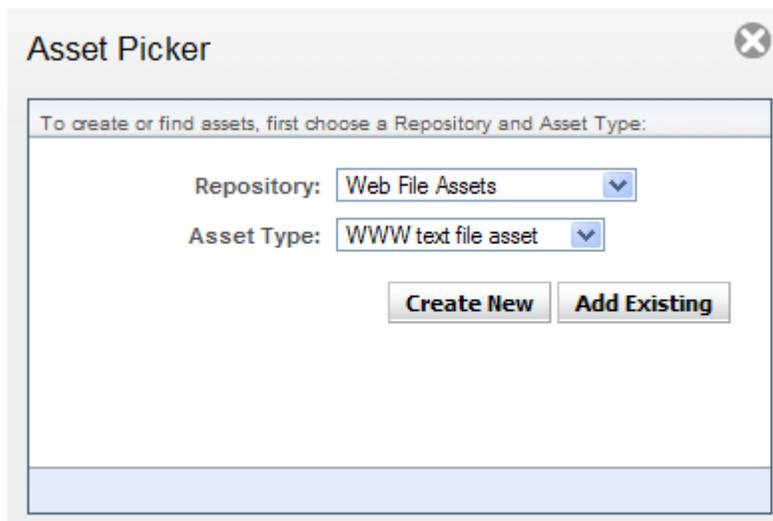
ACC を使用してプロジェクトにアセットを追加する方法については、「[アセット・タイプ](#)」を参照してください。

新規アセットの追加

この項では、バージョン管理システムにまだ存在しないアセット、つまり他のプロジェクトで使用されていない新規アセットをプロジェクトに追加するときの基本的な手順を説明します。

次の手順は、作成された方法に関係なく、すべての新規アセットに対して実行できます。

1. ターゲット・プロジェクトの「アセット」タブを表示します（「プロジェクト・アセットの表示」を参照してください）。
2. 「アセットをプロジェクトに追加」をクリックします。このオプションはプロジェクトがオープンして編集可能などときのみ表示されます。「アセット・ピッカー」が表示されます。



3. 「リポジトリ」フィールドで、新規アセットのタイプのデータが格納されているバージョン設定されたリポジトリを選択します。
4. 「アセット・タイプ」フィールドで、「アセット・タイプ」の中から1つを選択します。
5. 「新規作成」をクリックします。アセットの「プロパティ」タブが表示されます。
6. 「ファイル名」フィールドで、アセットの名前を入力します。次の要件が適用されます。
 - 名前がアセットのターゲット・フォルダ内で一意であること。
 - 必要に応じて、たとえば JPEG 用の「.jpg」など、タイプに適したファイル名拡張子をアセットに付けます。必須ではありませんが、正しい拡張子を付けると、システムが適切なエディタを識別できるため、アセットの編集が容易になります。
7. 必要に応じて、このアセットのその他のフィールドに入力します。フィールドはこのアセット・タイプのプロパティに対応しています。詳細は、「アセット・タイプ」を参照してください。
8. 「親フォルダ・パス」フィールドで、このアセットを格納するフォルダを指定します。デフォルトでは、すべての新規アセットが ATG ルート・ディレクトリ(\\)に格納されます。シナリオなど、一部のアセット・タイプは専用のフォルダに格納する必要があります。それ以外のアセットは、適切と思われる任意の場所に格納できます。

注意: 専用のフォルダの場所に格納する必要のあるアセットは、適切な場所を自動的に選択する ACC を使用してプロジェクトに追加できます。

9. 「適用」をクリックします。アセットが作成され、プロジェクトに追加されて、アセットに仮バージョン番号 1 が付けられます(「[アセット・バージョンの番号付け](#)」を参照してください)。
10. 「プロジェクトのアセットに戻る」をクリックします。

既存のアセットの追加

多くの場合、プロジェクトでは、過去に他のプロジェクトからチェックインされた既存のアセットを改訂する必要があります。たとえば、会社の Web サイトのページに役員の経歴が記載されていることがあります。新しい役員が就任した場合は、テキストを変更する必要があります。それには、そのテキスト・アセットのチェックイン・バージョンを新しいプロジェクトに追加します。アセットが作業バージョンになります。

既存のアセットをプロジェクトに追加するには

1. ターゲット・プロジェクトの「アセット」タブを表示します(「[プロジェクト・アセットの表示](#)」を参照してください)。
2. 「アセットをプロジェクトに追加」をクリックします。このオプションはプロジェクトがオープンしていて編集可能などときにのみ表示されます(「[編集不可なプロジェクト](#)」を参照してください)。
3. 「リポジトリ」フィールドで、このアセットが格納されているバージョン設定されたリポジトリを選択します。
4. 「アセット・タイプ」フィールドで、アセットのタイプを選択します(「[アセット・タイプ](#)」を参照してください)。
5. 「既存の追加」をクリックします。2 つのタブを持つ「アセット・ピッカー」が表示されます。
 - 「**検索**」では、アセット名の全体または一部を指定してバージョン設定されたリポジトリにアセットを問い合せて、結果リストから選択できます。
 - 「**参照**」では、アセット・フォルダの階層を移動し、目的のアセットを参照できます。
6. 「追加」をクリックします。
7. アセットの追加が終了したら、「クローズ」をクリックします。
8. プロジェクトにアセットが追加され、現在の(つまり作業)バージョン番号がアセットに付けられます(詳細は「[アセット・バージョンの番号付け](#)」を参照してください)。

「アセットの参照」ページからのアセットの追加

「アセットの参照」ページを使用してアセットを検索し、それを任意のアクティブなプロジェクトに追加できます。

1. ホームページで次をクリックします。
「操作」→「ATG Content Administration プロジェクト」→「アセットの参照」
2. 「検索」タブまたは「参照」タブを使用して目的のアセットを検索します。
3. 結果リストで目的のアセットを選択します。
注意: 結果リストは数ページにまたがる場合があります。
4. ページ最下部の 2 つのドロップダウン・リストから次を選択します。
 - 「変更」
 - アクティブなプロジェクト
5. 「プロジェクトに移動」を選択します。
6. 「進む」をクリックします。プロジェクトの「アセット」タブが表示されます。

アセットの編集

アセットを編集する手順は、プロジェクトにアセットを追加する手順と似ています。一部のアセット・タイプは Business Control Center で直接編集し、その他のアセットはサード・パーティ・アプリケーションを使用して編集します。シナリオおよびスロットは ACC 内で編集されます。

プロジェクトに属しているアセットのみを編集できます。そうすることで、常にバージョン管理システムの下でアセットが変更されることが保証されます。アセットの編集はプロジェクトの作成者によるタスク中にのみ行われます。作成者によるタスクが完了すると、それ以降のそのアセットの（プロジェクト内からの）編集は禁止されます。

この項では、次のトピックを説明します。

- [Business Control Center でのアセットの編集](#)
- [サード・パーティ・アプリケーションでのアセットの編集](#)
- [シナリオ・アセットとスロット・アセットの編集](#)

Business Control Center でのアセットの編集

テキスト・ファイル、Personalization アセットおよび Core Commerce アセットは、Business Control Center で直接編集できます。

1. 編集対象となるアセットが含まれたプロジェクトの「アセット」タブを表示します。
2. アセットの名前をクリックして、アセットの「プロパティ」タブを表示します。
3. 必要に応じてアセットのプロパティを編集します。
4. 「適用」をクリックします。ATG Content Administration システムによって、アセットの作業バージョンがユーザーの変更したばかりのアセットに置き換えられます。現在のバージョン番号は変わりません。

サード・パーティ・アプリケーションでのアセットの編集

場合によっては、Business Control Center からアセットをダウンロードし、グラフィックス・エディタなど、別のアプリケーションでアセットを編集できます。編集が終了したら、システムが既存の作業バージョンをユーザーが編集したばかりのバージョンに置き換えられるように、ファイルをアップロードします。

ダウンロード機能が使用できるかどうかは、アセットの構成によって決まります。詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』を参照してください。

サード・パーティ・アプリケーションでアセットを編集するには

1. 編集するアセットが含まれたプロジェクトの「アセット」タブを表示します。
2. アセットの名前をクリックします。アセットの「プロパティ」タブが表示されます。
3. 「ダウンロード」をクリックします。
4. ブラウザの「ダウンロード」ダイアログで、「開く」または「保存」をクリックします。
 - 「開く」では、アセット名拡張子に関連付けられたアプリケーションで編集対象のファイルを開きます。
 - 「保存」では、システムにファイルを保存するかどうかの問合せが表示されます。
5. サード・パーティ・アプリケーションでファイルを編集し、それをシステムに保存します。

注意: アセットの前のソースの場所やアセット名に関係なく、ダウンロードしたファイルをシステムのどこにでも任意の名前で保存できます。

6. Business Control Center に戻り、アセットの「プロパティ」タブを表示します。
7. 「アップロードされたファイル」フィールドで、「参照」をクリックしてファイルを検索するか、ファイルのパスを手動で入力します。
8. 「アップロード」をクリックします。
9. 「適用」をクリックします。

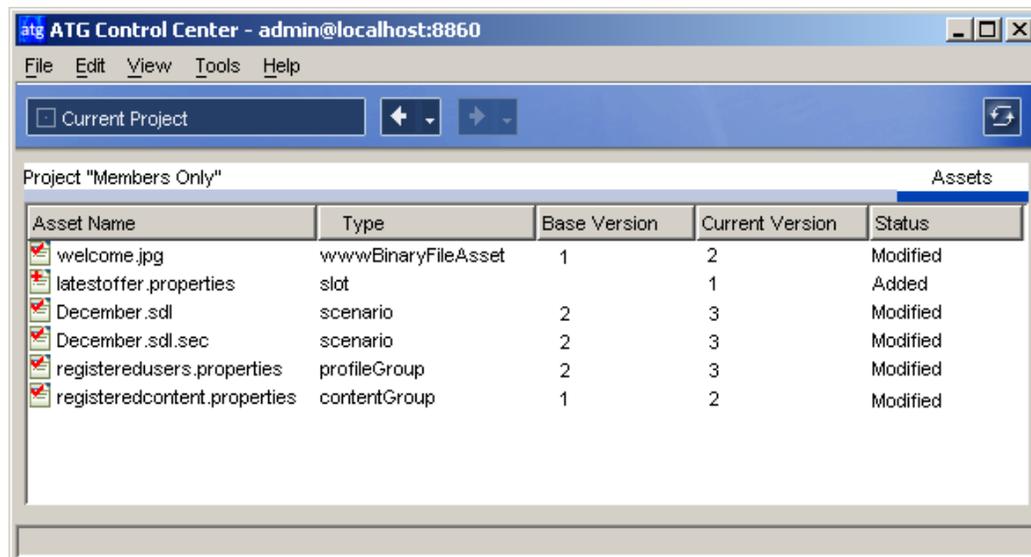
ATG Content Administration によってアセットの作業バージョンがアップロードされたファイルに置き換えられます。アセットがチェックインされていないため、バージョン番号は変わりません。

シナリオ・アセットとスロット・アセットの編集

シナリオとスロットは ATG Control Center (ACC) で編集します。これらのアセット・タイプが正しくバージョン設定されるように、ユーザーが ACC を ATG Content Administration と同じサーバー上で実行すると、ACC に追加のインタフェース・コントロールが表示されます。

ACC でアセットを編集するには

1. ATG Content Administration が適切なモジュールとともに実行されていることを確認します。ORACLE COMMERCE PLATFORM モジュールとアプリケーション・アセンブリについては、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。
2. ATG Content Administration サーバーに接続されている ACC を起動します。『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。
3. ACC から「ツール(&T)」→「プロジェクトの選択」を選択します。
4. 「作業するプロジェクトの選択」をクリックし、編集するアセットが含まれているプロジェクトを選択します。
注意: 編集可能なプロジェクトのみがリストされます(「[編集不可なプロジェクト](#)」を参照してください)。
5. 「OK」をクリックします。
6. 「公開」→「現在のプロジェクト」を選択します。ACC にプロジェクト・アセットがリストされます。



個々のアセットに関する次の情報が表示されます。

- 名前
- シナリオなどのアセット・タイプ
- ベース・バージョン番号(チェックイン・バージョン)
- 現在のバージョン番号(作業バージョン)
- ステータス。次のいずれかです。

追加済: アセットに作業バージョンのみがあります(アセットがまだバージョン管理システムにチェックインされていません)。アセットのステータスが「追加済」の場合は、リスト内のアセットの先頭にプラス記号が付きます。

変更済: アセットに少なくとも 1 つのチェックイン・バージョンがあります。このステータスを示すチェック・マークがアセットの先頭に付きます。

削除済: アセットが削除処理中です。このステータスを示す X マークがアセットの先頭に付きます。アセットが「削除済」として表示される理由は、次のいずれかです。

Business Control Center の「参照」タブを使用して削除するアセットが選択され、アセットを削除するプロジェクトとしてこのプロジェクトが指定されているため(アセットは、プロジェクトに追加されていないと変更できません)。

ACC を使用してアセットが削除されたため。アセットは削除に使用されたウィンドウのリストから削除されますが、「公開」→「現在のプロジェクト」リストでは「削除済」として表示されます。このように動作する理由は、削除を含む変更をアセットに加えるには、アセットをプロジェクトに追加する必要があるからです。

7. 編集するアセットの名前をクリックします。アセットのタイプに対応する編集ウィンドウが開きます。
8. 必要に応じてアセットを変更し、「ファイル」→「保存」を選択します。

ステータスが「削除済」になっているアセットは編集できません。たとえば、シナリオに関連付けられた .sec ファイルなど、通常 ACC では編集できないアセットを選択したため、アセットに対応するエディタがない場合は、次のメッセージが表示されます。

アセット(アセット名)のエディタが見つかりませんでした

編集したアセットがプロジェクトに含まれていることの確認

デフォルトでは、ATG Content Administration サーバーに接続された ACC のコピーを使用して編集されたすべての項目が、まだプロジェクトに追加されていなければ、自動的に現在のプロジェクトに追加されます。必要に応じて、項目がアセットとして追加されることを警告し、変更を保存する要求をユーザーが取り消せる確認のダイアログ・ボックスを使用可能にできます。

確認のダイアログ・ボックスを使用可能にするには、「ツール(&T)」→「プリファレンス」→「公開」を選択して、「項目をプロジェクトに自動的に追加する前の確認の要求」を選択します。プロジェクトにまだ追加されていない項目を編集し、保存しようとする、必ず次のメッセージが表示されます。

この項目を保存した場合、現在のプロジェクトに追加されます。続行しますか?

確認メッセージが表示されたときに「いいえ」を選択すると、加えた変更は編集ウィンドウに保持されますが、保存はされません。手動で変更を元に戻す必要があります。

この確認は、ACC で項目を編集し、保存したときのみ適用され、項目を作成したときには適用されません。新規項目は必ず現在のプロジェクトに追加されます。

アセットのバージョン設定

通常、コンテンツ管理プロジェクトは、同じアセットが複数のプロジェクトで再利用される可能性がある共同作業になるため、たとえば複数のユーザーが同じコンテンツを同時に編集することを防止するなど、アセットのライフサイクルを注意して管理する必要があります。また、アセットの最新バージョン、つまり実稼働サイトに配置されているバージョンを保持する必要があります。ATG Content Administration のバージョン管理システムはアセットのライフサイクルを管理し、アセットの動作の多くの側面がこのシステムの影響を受けます。

アセット・バージョンの番号付け

バージョン管理システムは 2 種類のバージョン番号を保持します。

- **ベース・バージョン番号:** アセットの最新のチェックイン・バージョン。アセットが作成されたときの最初のベース・バージョン番号は 1 です。
- **仮バージョン番号:** アセットの個々のチェックアウト・バージョンに条件付きで割り当てられるバージョン番号。

アセットをプロジェクトに追加すると、そのアセットに仮バージョン番号が割り当てられます。プロジェクトのアセットがチェックインされると、仮バージョン番号が新しいベース・バージョンに変換されます。同じアセットが別のプロジェクトからすでにチェックインされている場合は、次の使用可能な番号が新しいベース・バージョンに割り当てられます。

例:

1. ジョンが ExecProfiles というアセットを自分のプロジェクトに追加します。ExecProfiles はバージョン設定されたリポジトリの新規アセットであるため、ベース・バージョン番号 1 が割り当てられています。ジョンが自分のプロジェクトに ExecProfiles を追加すると、ジョンの作業バージョンには仮バージョン番号 2 が割り当てられます。
2. ジョンが ExecProfiles を編集している間、スーザンもそのアセットを自分のプロジェクトに追加したため、アセットに仮バージョン番号 3 が割り当てられます。
3. スーザンが自分のプロジェクトを配置したため、ExecProfiles を含むプロジェクトのアセットがチェックインされます。チェックインされたアセットの仮バージョン番号が使用され、ベース・バージョン番号が 3 になります。
4. ジョンは自分の ExecProfiles のバージョンとスーザンがチェックインした新しいベース・バージョンが競合していることを知らせるアラートを受けます。ジョンは、ベース・バージョンを上書きするか、2 つの競合するバージョンをマージすることによって、この競合を解決できます(「[アセットの競合の解決](#)」を参照してください)。
5. ジョンが自分のプロジェクトを配置し、プロジェクトのアセットがチェックインされます。ExecProfiles のベース・バージョン番号が 4 に増分されます。

アセットのバージョン番号を表示するには、「アセット」タブを表示し、「ベース・バージョン」列と「現在のバージョン」列を調べます。詳細は、「[プロジェクト・アセットの表示](#)」を参照してください。

アセットのバージョン履歴に関する詳細情報は、「アセット」→「履歴」タブで確認できます。詳細は、「[アセットの履歴の表示](#)」を参照してください。

アセットのチェックイン

プロジェクトの配置が完了すると、アセットがバージョン管理システムに自動的にチェックインされます。アセットがチェックインされると、そのアセットはアセットの新しいベース・バージョンになります。詳細は、「[アセット・バージョンの番号付け](#)」を参照してください。

アセットの競合の解決

Business Control Center は、ユーザーが作業バージョンの作成に使用したアセットが他のユーザーによって変更されたときにユーザーに警告する競合解決機能を備えています。例:

1. レイが既存のアセットを新しいプロジェクトに追加します。
2. あなたが同じアセットを別のプロジェクトに追加します。
3. レイが自分のアセットの作業バージョンを編集し、自分のプロジェクトを配置します。レイのプロジェクトに含まれたアセットがチェックインされ、チェックインされたアセットが新しいベース・バージョンになります。それらのアセットには、あなたのプロジェクトの作業バージョンには含まれていない変更が含まれています。
4. あなたが次回プロジェクトの「アセット」タブを表示すると、次の図に示すように、「現在のバージョン」列のアセット「`directions.txt`」行に「最新とマージ」が表示されます。

Assets Changed in This Project					
<input checked="" type="checkbox"/>	/directions.txt	wwwTextFileAsset	2	merge with latest >>	Modified
<input type="checkbox"/>	/map.jpg	wwwBinaryFileAsset		1	Created

「最新とマージ」は、あなたが編集中心のアセットのバージョンが最新のチェックイン(ベース)・バージョンを使用して作成されたものでないことを示しています。競合しているアセットはリストの最上部に表示されます。

「最新とマージ」リンクをクリックすると、アセットのマージ・ページへ移動します。

Merge Assets

Asset Name: directions.txt
Asset type: wwwTextFileAsset
Current version: 2

Merge Assets

Your version	Latest version
Sep 6, 2004 5:15 PM Author: Ann Henry <input type="radio"/> Text content: Phasellus tempus consequat magna. Maecenas mauris ligula, bibendum sit amet, sodales eget, blandit id, felis. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Morbi ligula. Proin lobortis wisi ac quam. Integer mi urna, varius a, faucibus quis, malesuada nec, wisi. In hac habitasse platea dictumst. Integer metus. Sed aliquam.	Sep 7, 2004 6:07 PM Author: Ray Lopez <input type="radio"/> Text content: Proin sapien metus, fermentum ac, imperdiet id, blandit at, turpis. Duis justo. Pellentesque scelerisque arcu at nisl. Quisque vitae dui. Ut gravida imperdiet purus. Proin ipsum justo, volutpat ac, posuere vitae, porttitor non, nibh. Nam eget nibh eu metus pellentesque mattis.

Use My Version
 Use Latest Version
 Merge Selected Properties
 Cancel Merge

「アセットのマージ」ページには、あなたの作業バージョンのプロパティと最新のチェックイン・バージョンのプロパティが左右に並んで表示されるため、両者を比較できます。

競合を解決する方法は 3 つあります。

- 「自分のバージョンを使用」をクリックして、自分の作業バージョンでチェックイン・バージョンを上書きする方法。このアセットをチェックインすると、自分の加えた変更が最新バージョンに保持されます。
- 「最新バージョンを使用」をクリックして、チェックイン・バージョンで自分の作業バージョンに加えた変更を上書きする方法。チェックイン・バージョンが優先され、自分の加えたすべての変更が失われます。
- 手動で両方のバージョンのプロパティをマージする方法。

注意: 現在のタスクを完了するには、プロジェクト内の未処理になっているすべてのバージョン競合を解決する必要があります。バージョン競合がある状態でタスクを完了しようとすると、エラー・メッセージが表示されます。

バージョンのマージ

自分の編集したプロパティの一部を残し、最新バージョンのプロパティの一部を追加するには

1. 自分の作業バージョンに含めたいプロパティを 2 つのバージョンから選択します。アセットをチェックインすると、それらのプロパティが結合され、新しいベース・バージョンが形成されます。
2. 「選択したプロパティのマージ」をクリックします。このボタンをクリックしたときに「マージするプロパティを選択してください。」というメッセージが表示された場合は、すべてのプロパティについて自分のバージョンまたは最新バージョンのどちらかを指定したかどうかを確認してください。つまり、未選択のプロパティが残らないようにしてください。

コンカレント更新例外

バージョン管理システムでは、2 人のユーザーが異なるプロジェクト内の同じアセットを編集する状況に対処します。プロジェクトの作成者によるタスクが未割当になっていると、複数のユーザーが同時にそのプロジェクト・アセットを編集する可能性があります。その場合は、バージョン競合が検出されません。プロジェクトでは、1 人のユーザーしかアセットの変更を保存できません。アセットの変更が保存された後、他のユーザーが同じアセットの変更を保存しようとすると、「コンカレント更新例外」メッセージが表示され、他のユーザーの変更は保存されません。

アセットのバージョンの比較

ATG Content Administration は、1 つのアセットの 2 つのバージョンの相違を確認するための比較機能を備えています。同じアセットのチェックイン・バージョンのみを比較できます。アセットの作業バージョンは他のバージョンと比較できません。

比較機能はリポジトリ・アセットでのみ使用でき、ファイル・アセットでは使用できないことにも注意してください。リポジトリ・アセットには、製品カタログなどの Core Commerce アセットや様々なカスタム・アセット・タイプが含まれます。ファイル・アセットには、「WWW テキスト・ファイル・アセット」タイプや「WWW バイナリ・ファイル・アセット」タイプを使用して作成されたアセットやシナリオ、スロット、ターゲット設定機能などの Personalization アセットおよび/atg/epub/file/ConfigFilesystem リポジトリに格納されているその他すべてのアセットが含まれます。

比較するには

1. 「アセット」タブを表示します。
2. バージョンを比較するアセットの名前をクリックします。
3. 「履歴」タブを表示します。
4. 比較する2つのバージョンを選択します。
5. 「選択したバージョンの比較」をクリックします。

「アセット履歴の比較」ページが表示され、左右に並んだ2列に2つのバージョンのプロパティが表示されます。プロパティをマージする方法については、「[アセットの競合の解決](#)」を参照してください。

「アセットの参照」ページでも比較機能を使用できます。詳細は、「[すべてのバージョン設定されたアセットの参照](#)」を参照してください。

アセットの配置

プロジェクト内の適切なタスクが完了すれば、プロジェクト・アセットを配置できます。多くの場合、その時期は、コンテンツ・レビューアがプロジェクトを承認した後です。すべてのプロジェクト・アセットが同時に配置されます。

実際の配置プロセスは構成可能です。インストールされているワークフローには2つの配置方法が用意されています。

- 「承認および配置」では、ターゲット・サイトへのプロジェクト・アセットの配置を開始します。
- 「配置の承認」では、`RecurringDeploymentService` または管理者によって開始される配置を目的としてプロジェクトを承認します。

任意のワークフロー・ステージでプロジェクトからアセットを配置できる1回限りの配置ターゲットも構成できます。

システム管理者は、適切なアクセス権限を持つユーザーがアクセスできる「管理コンソール」ページを使用して配置を構成および監視します。配置のオプションとツールの詳細は、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』の「プロジェクト・アセットの配置」を参照してください。

アセットのロック

配置されたアセット・バージョンのすべてのターゲットでの一貫性を確保するために、プロジェクトが配置のために承認されると、プロジェクト・アセットがロックされ、配置が完了してプロジェクト・アセットがチェックインされるまで、ロックが維持されます。アセットがロックされている間、他のプロジェクトからはそのアセットを配置できません。この動作によって、ユーザーがアセットに加えた変更が承認されるまでの間、他のユーザーがその変更を利用することを防止します。

実稼働環境への配置の後は、次の2つの処理のどちらかが実行されるまで、アセットのロックが維持されません。

- 配置が確認され、プロジェクト・アセットがチェックインされるまで。その後はアセットの変更が他のプロジェクトから見えるようになります。
- プロジェクト・アセットがすべてのターゲット・サイトから元に戻されるまで。

アセットのロックの解決

バージョンの整合性を確保するために、配置が開始されると、配置されるプロジェクトはプロジェクト・アセットの排他ロックを取得します。配置が完了し、プロジェクト・アセットがチェックインされるまで、または配置が元に戻されるまで、プロジェクトは排他ロックを解除しません。プロジェクト・アセットのロックが解除されるまで、ロックされたアセットを共有する他のプロジェクトは配置できません。

プロジェクトの配置が他のプロジェクトにブロックされている場合は、プロジェクトの「ロックの競合」タブを使用して、どのプロジェクトがプロジェクト・アセットのロックを取得しているかを判別できます。たとえば、project1 と project2 という 2 つのプロジェクトが同時に同じアセットを持っていることがあります。project1 がすでに配置のために承認されている場合、project1 は共有されているアセットに対する排他ロックを取得しています。その結果、project2 の配置を試みると、次のエラー・メッセージが表示されます。

プロジェクト project2 (id: prj20018)の配置の承認に失敗しました。1 つ以上のアセットで排他ロックを取得できません。他のプロジェクトによってロックされているアセットを判別するには、「ロックの競合」ページを使用します。

project2 のアセットのロックを取得しているすべてのプロジェクトを表示するには、project2 の「ロックの競合」タブをクリックします。この例では、project1 という 1 つのプロジェクトのみが表示されます。

Project : project2
[← Available projects](#)

This is the project details page, where you can look at and change the tasks, assets, and notes/history items associated with a project.

Tasks	Assets	History	Lock Conflicts	Project Status: Active
-------	--------	---------	----------------	------------------------

Project Name: project2
 Type of project: Manage Commerce Assets
 Start Date: Dec 11, 2008 8:44 AM
 Created by: admin

Active Projects Containing Locked Assets
[Download Excel® File of All Blocking Assets](#)

Projects	Current Target	Next Scheduled Deployment	Scheduled Target	Locked Assets
project1				View Locked Assets

ロックされているアセットを判別する方法は 2 つあります。

- すべてのブロックしているアセットの Excel ファイルをダウンロードする方法。
- 「ロック済アセットの表示」をクリックする方法。配置されるプロジェクトの「ロック済アセット」タブが表示され、他のプロジェクトに対してロックされているアセットがリストされます。

Project : project2
[« Available projects](#)

This is the project details page, where you can look at and change the tasks, assets, and notes/history items associated with a project.

Tasks	Assets	History	Lock Conflicts	Project Status: Active
Project Name: project2 Type of project: Manage Commerce Assets Start Date: Dec 11, 2008 8:44 AM Created by: admin				
Assets Locked in Project: project1 « All Projects				
Asset Name	Type	Base Version	Current Version	Status
 Gift Wrap	sku	1	2	Modified

1 回限りのターゲットへの配置

1 回限りの配置は、一般に開発サーバーへのコンテンツの配置に使用される特殊な環境専用の方法と考える必要があります。実稼働環境やステージング環境へのコンテンツの配置には使用しないでください。

1 回限りのターゲット・サイトへの完全配置には、前回配置されて現在アクティブなプロジェクトは含まれません。1 回限りのターゲット・サイトへの完全配置では、チェックインされたプロジェクトのみが配置されます。

アセット・タイプ

次の表は、ATG Content Administration にデフォルトで表示されるアセット・タイプの一覧です。使用環境に合わせてカスタマイズされた追加のアセット・タイプが Business Control Center に表示されることもあります。

アセット・タイプ	使用目的
WWW バイナリ・ファイル・アセット	テキスト・ファイル以外のすべてのファイル。例:画像ファイル、.zip ファイル、ビデオ・ファイル。「 バイナリ・ファイル・アセット 」を参照してください。
WWW テキスト・ファイル・アセット	シンプルなテキストが含まれたすべてのファイル。例: プレーン・テキスト・ファイル、HTML ファイル、JSP。「 テキスト・ファイル・アセット 」を参照してください。
フォルダ	アセットの階層へのフォルダの追加

アセット・タイプ	使用目的
ターゲット設定機能 コンテンツ・グループ プロファイル・グループ セグメント スロット シナリオ	表示されている個々のアセット・タイプに対応する項目。たとえば、ターゲット設定機能の例には、パーソナライズ・モジュール・コンテンツ・ターゲット設定機能があります。 ターゲット設定機能とコンテンツ・グループの詳細は、『Business Control Center ユーザーズ・ガイド』を参照してください。 ユーザー・セグメント、スロット、シナリオの詳細は、「ユーザー・セグメント・アセット」および「シナリオ・アセットとスロット・アセット」を参照してください。
Core Commerce アセット・タイプ。例: 製品 SKU 価格	表示されている個々のアセット・タイプに対応する項目。たとえば、SKU の例には、製品カタログのバージョン設定されたリポジトリに格納されている Core Commerce SKU があります。詳細は、『ATG Web Commerce マーチャンダイジング・ガイド』を参照してください。

次の各項では、前述のタイプのアセットの追加と編集の詳細を説明します。

- [バイナリ・ファイル・アセット](#)
- [テキスト・ファイル・アセット](#)
- [ユーザー・セグメント・アセット](#)
- [シナリオ・アセットとスロット・アセット](#)

バイナリ・ファイル・アセット

任意のタイプのバイナリ・ファイルをサード・パーティ・アプリケーションから追加するには、WWW バイナリ・ファイル・アセットを指定します。バイナリ・ファイルには、JPEG、GIF などの画像ファイル、FLA ファイル、PDF ファイルおよび zip ファイルがあります。このオプションはテキスト・ファイルに対しても有効ですが、テキスト・ファイルには WWW テキスト・ファイル・アセットを使用する必要があります。

バイナリ・ファイルを新しいアセットとしてプロジェクトに追加するには、「[新規アセットの追加](#)」の手順を実行し、次のフィールドの値を指定します。

フィールド	指定する値
リポジトリ	WWW ファイル・システム
アセット・タイプ	WWW バイナリ・ファイル・アセット
ファイル名	アセットの名前。 ファイル名はターゲット・フォルダ内で一意である必要があり、必要に応じて、たとえば JPEG 用の .jpg など、ファイルのタイプに対応するファイル名拡張子を付けます。必須ではありませんが、正しい拡張子を付けると、システムが適切なエディタを識別できるため、アセットの編集が容易になります。

フィールド	指定する値
アップロードされたファイル	アップロードするソース・ファイル。「参照」をクリックしてファイルを検索するか、ファイルのパスを手動で入力します。
親フォルダ・パス	(オプション)このアセットの格納先フォルダ。デフォルトでは、すべての新規アセットが ATG ルート・ディレクトリ (\) に格納されます。

これらの値を入力したら、「適用」をクリックします。ファイルがアセットとして追加されます。アセットが画像の場合は、画像を表示するための「イメージの表示」ボタンが表示されます。バイナリ・アセットの場合は、「ダウンロード」ボタンが表示されることもあります(「[サード・パーティ・アプリケーションでのアセットの編集](#)」を参照してください)。

テキスト・ファイル・アセット

たとえば、HTML、JSP、プレーン・テキストなど、編集可能なテキストが含まれたファイルを追加するには、WWW テキスト・ファイル・アセットを指定します。このタイプをテキスト・ファイルに関連付けることで、このアセットに適したテキスト編集機能を表示できます。

テキスト・ファイルを新しいアセットとしてプロジェクトに追加するには、「[新規アセットの追加](#)」の手順を実行し、次のフィールドの値を指定します。

フィールド	指定する値
リポジトリ	WWW ファイル・システム
アセット・タイプ	WWW テキスト・ファイル・アセット
ファイル名	アセットの名前。 ファイル名はターゲット・フォルダ内で一意である必要があり、必要に応じて、たとえば、.txt、.html、.jsp など、ファイルのタイプに対応するファイル名拡張子を付けます。必須ではありませんが、正しい拡張子を付けると、システムが適切なエディタを識別できるため、アセットの編集が容易になります。
テキスト・フィールド アップロードされたファイル	手動でテキスト・フィールドに入力またはペーストされた、あるいは「アップロードされたファイル」フィールドを介して外部のソース・ファイルからアップロードされたアセットのテキスト。「アップロードされたファイル」では、「参照」をクリックするか、ファイルのパスを手動で入力することによって、アップロードするソース・ファイルを指定します。 これらのフィールドのどちらかを使用してのみテキスト・ソースを指定できます。外部ファイルをアップロードした場合は、「適用」をクリックし、ページをリフレッシュした後で、ファイルのコンテンツが表示されます。
親フォルダ・パス	(オプション)このアセットの格納先フォルダ。デフォルトでは、すべての新規アセットが ATG ルート・ディレクトリ (\) に格納されます。

ユーザー・セグメント・アセット

ビジネス・キャンペーンを特定のユーザーのグループ、つまりユーザー・セグメントにターゲット設定できます。ユーザー・セグメントはプロファイル・プロパティのセットで定義されます。指定されたプロパティがプロファイルに含まれているすべてのユーザーがセグメントに含まれます。

ユーザー・セグメントは Business Control Center の 2 つの場所で作成できます。

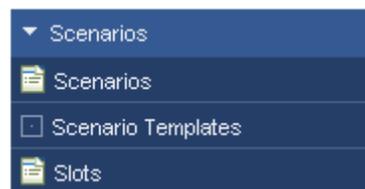
- ATG Content Administration 領域内の「アセット」インタフェース
- 「パーソナライズ」→「Targeting およびセグメンテーション」オプション

どちらの方法でも、選択されているプロジェクトにユーザー・セグメントがアセットとして自動的に追加され、他のアセットと同様に、バージョン設定されて配置されます。ユーザー・セグメントを作成する方法については、『[ATG Web Commerce Business Control Center ユーザーズ・ガイド](#)』を参照してください。

シナリオ・アセットとスロット・アセット

Oracle Commerce Scenarios モジュールとともに使用するために作成されたシナリオとスロットは、アセットとしてプロジェクトに追加でき、プロジェクトで ATG Content Administration によってバージョン設定され、配置されます。他のアセット・タイプと異なり、シナリオ・アセットとスロット・アセットの作成と編集には、ATG Control Center (ACC) を使用する必要があります。

ACC では、メニュー・レベルでドキュメント・アイコンを表示することによって、ATG Content Administration プロジェクトに含めることのできる項目 (シナリオやスロットなど) をバージョン設定されたアセットとして識別します。



注意: ドキュメント・アイコンは、ACC が ATG Content Administration サーバーに接続されている場合にのみ表示されます。詳細は、次の項の手順を参照してください。

新しいシナリオ・アセットおよびスロット・アセットのプロジェクトへの追加

シナリオやスロットを ATG Content Administration プロジェクトに追加する方法はいくつかあります。シナリオまたはスロットがすでにアセットとして存在している場合は、それらを他のアセットと同様にプロジェクトに追加できます (『[既存のアセットの追加](#)』参照してください)。

アセットを作成すると同時にプロジェクトに追加することもできます。次に手順を説明する方法は、ACC でアセットを作成した後、Business Control Center に切り替えて、そのアセットをプロジェクトに追加する方法より効率が高いことがあります。

1. ATG Content Administration が適切なモジュールとともに実行されていることを確認します。ORACLE COMMERCE PLATFORM モジュールとアプリケーション・アセンブリについては、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。
2. ACC を起動し、ATG Content Administration サーバーに接続します。詳細は、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

3. ACCから「ツール(&T)」→「プロジェクトの選択」を選択します。
4. 「作業するプロジェクトの選択」をクリックし、新しいアセットの追加先となるプロジェクトを選択します。
注意: 選択リストには編集可能なプロジェクトのみが表示されます(「[編集不可なプロジェクト](#)」を参照してください)。
5. 「OK」をクリックします。
6. ACCで、シナリオ項目またはスロット項目を作成します(『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』を参照してください)。
7. 項目を保存します。
8. 項目がプロジェクトに追加されたことを確認します。
 - 「公開」→「現在のプロジェクト」を選択します。
 - 「表示」→「リフレッシュ」を選択します。

作成した項目がプロジェクト・アセットのリストに追加され、そのアセットの最初の作業バージョンであることを示すために、アセットに現在のバージョン番号 1 が割り当てられます。Business Control Center に切り替えて、プロジェクトの「アセット」タブをリフレッシュすると、新規アセットが表示されます。

ATG Content Administration を実行すると使用可能になる ACC インタフェース要素の使用の詳細は、「[シナリオ・アセットとスロット・アセットの編集](#)」を参照してください。

注意: 他の Personalization アセットが新規シナリオまたは新規スロットを使用できるようにするには、まず、その新規アセットが含まれたプロジェクトをチェックインする必要があります。たとえば、スロットをあるプロジェクトの一部として作成した場合は、そのプロジェクトが完了するまで、シナリオはそのスロットを使用できません。

既存のシナリオ・アセットまたはスロット・アセットのプロジェクトへの追加

既存のシナリオ・アセットまたはスロット・アセットをプロジェクトに追加する方法は 2 つあります。1 つは Business Control Center を使用する方法(「[既存のアセットの追加](#)」を参照)で、もう 1 つは次に説明する ACC を使用する方法です。

1. ATG Content Administration が適切なモジュールとともに実行されていることを確認します。ORACLE COMMERCE PLATFORM モジュールとアプリケーション・アセンブリについては、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。
2. ACC を起動し、ATG Content Administration サーバーに接続します。詳細は、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。
3. ACCから「ツール(&T)」→「プロジェクトの選択」を選択します。
4. 「作業するプロジェクトの選択」をクリックし、新しいアセットの追加先となるプロジェクトを選択します。
注意: 選択リストには編集可能なプロジェクトのみが表示されます(「[編集不可なプロジェクト](#)」を参照してください)。
5. 「OK」をクリックします。
6. ターゲット・アセットが含まれているトップ・レベル・リストを表示します。たとえば、「シナリオ」→「スロット」を選択して、既存のターゲット設定機能のリストを表示します。
7. 「名前」列以外の列の項目のエントリをクリックして、項目をハイライトします。
8. 「ファイル」→「項目を現在のプロジェクトに追加」を選択します。
9. 項目がプロジェクトに追加されたことを確認します。

- 「公開」→「現在のプロジェクト」を選択します。
- 「表示」→「リフレッシュ」を選択します。

プロジェクト・アセットのリストに項目が追加されます。

ACC でのプロジェクトの変更

ACC で現在のプロジェクトを変更するには

1. 「ツール(&T)」→「プロジェクトの選択」を選択します。
プロジェクトを切り替えると ACC が再初期化されることを知らせるメッセージが表示されます。
2. 「はい」をクリックします。
3. 現在のプロジェクトとして使用するプロジェクトを選択します。

アセットのリンク付け

他のアセットへのリンクを値として持つプロパティが含まれるようにアセットを構成できます。次の例では、参照プロパティに **Currency Converter** という名前の項目へのリンクが含まれます。

Reference:	<input type="button" value="edit link"/>	<input type="button" value="clear link"/>	Currency Converter
------------	--	---	------------------------------------

1 つのアセットを別のアセットにリンク付けするには

1. プロパティ値がリンクになることを示すコントロール (通常はボタン) をクリックします。
2. 表示される「アセット・ピッカー」で、既存のアセットまたは新規アセットのどちらかをリンク・ターゲットとして指定します。
 - 既存のアセットを選択した場合は、必要に応じてターゲット・アセットを編集し、変更を保存できます。そのアセットは、編集が終了したときに自動的にプロジェクトに追加されます。
 - 新規アセットを指定すると、アセットを作成するための標準のフィールドが表示されます。アセットの作成の詳細は、「[新規アセットの追加](#)」を参照してください。

リンクとして指定できるアセットのタイプは、プロパティに対応するリポジトリの定義によって決まります。したがって、ターゲット・アセットのリポジトリとタイプを指定する選択フィールドには、通常、1 つの選択肢しか表示されません。

ターゲット・アセットが他のプロジェクト・アセットとともに配置されます。

親アセットからターゲット・アセットのリンクをクリックすることによって、すばやくターゲット・アセットにアクセスし、編集できます。リンク付けされたアセットへのこのショートカットは、複数のアセットがまとめてリンク付けされているときに特に便利です。

プロジェクトからのアセットの削除

プロジェクトからアセットを削除すると、アセットがプロジェクトに追加されてからそれまでに、すべてのユーザーがアセットの作業バージョンに加えたすべての変更が破棄されます。

1つ以上のアセットをプロジェクトから削除するには

1. 「使用可能なプロジェクト」ページで、削除するアセットが含まれたプロジェクトを選択します。
2. 「アセット」タブを表示します。
3. 左列のチェック・ボックスを使用して、削除するアセットを選択します。
4. 「アセットをプロジェクトから削除」をクリックします。

アセットの履歴の表示

アセットの履歴を表示すると、アセットの作成日時、個々のチェックインに関連付けられたバージョン番号、アセットがチェックインされた日時のリスト、アセットを作成または変更したユーザーの ID を確認できます。

アセットの履歴を表示するには

1. 「アセット」タブを表示します。
2. 履歴を表示するアセットの名前をクリックします。
3. 「履歴」タブを表示します。

Properties		History		
Asset Name: MyAsset Asset type: Custom Current version: 3				
History				
<input checked="" type="checkbox"/>	Action	Version	Date & Time	Checked In By
<input type="checkbox"/>	Created	1	Jun 25, 2004 8:03:12 AM	import
<input type="checkbox"/>	Modified	2	Aug 1, 2004 5:14:53 PM	Mary Garson
<input type="checkbox"/>	Modified	3	Sep 6, 2004 2:15:08 PM	Mary Garson
				 Compare selected versions

「選択したバージョンの比較」ボタンを使用して、アセットの2つのバージョンのプロパティを比較できます。詳細は、「[アセット・バージョンの比較](#)」を参照してください。

アセットの履歴の表示には2つの制約があります。

- アセットの履歴は、アセットがチェックインされないと表示されません。
- バージョン設定されたリポジトリのページを実行中に Business Control Center がオープンしている場合、ページが完了した後で表示されるアセットの履歴は無効である可能性があります。ページされたアセット・バージョンへのアクセスを試みると、エラーが発生します。その場合は、Business Control Center を終了し、再びログインします。

アセットのプレビュー

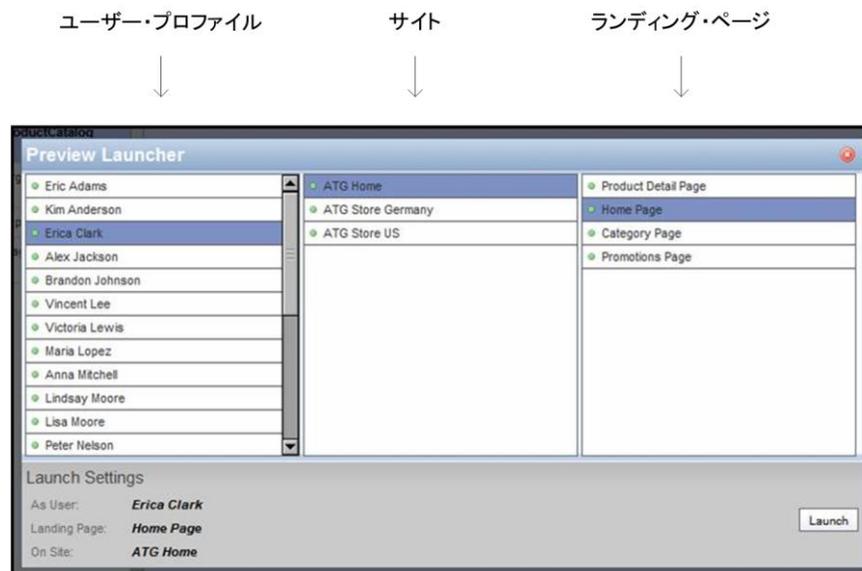
Web サイトでのプロジェクト・アセットの動作や外観を確認するために、プロジェクト・アセットをプレビューできます。たとえば、ある記事が特定のスタイルシートでどのように表示されるかをプレビューできます。別のブラウザ・ウィンドウ内の選択されているランディング・ページにアセットが表示され、現在のプロジェクトで加えたすべての変更が表示に反映されます。プレビュー後に変更を加えた場合は、ブラウザ・ウィンドウをリフレッシュすることによって変更をプレビューできます。様々なユーザー・プロフィールの視点からアセットをプレビューできます。複数サイトが構成されている場合は、複数のサイトでアセットを表示することもできます。

プレビュー機能は管理者が設定する必要があります。プレビュー・オプションと設定の要件については、『[ATG Web Commerce Business Control Center Administration and Development Guide](#)』のプレビューの設定に関する項を参照してください。

アセットをプレビューするには

1. この章の前述の手順に従ってアセットを作成または編集します。
2. アセットの「プロパティ」タブで、プレビューをクリックします。
3. 「プレビュー・ランチャ」から適切なユーザー・プロフィール、ランディング・ページ、および複数サイトが構成されている場合は目的のサイトを選択します。

次の図は、複数サイトが構成されている環境で表示されるプレビュー・ランチャの例を示しています。



システムからのアセットの削除

アセットを削除すると、そのアセットのベース(チェックイン)・バージョンがシステムから削除されます。アセットの作業バージョンのみをプロジェクトから削除する方法については、「[プロジェクトからのアセットの削除](#)」を参照してください。

注意: たとえば、Windows エクスプローラでファイルを検索し、削除するなどして、格納先のファイル・システムから直接ファイル・アセットを削除しないでください。直接削除すると、データ整合性エラーが発生します。そのかわりに、次の手順に従ってください。

アセットを削除するには

1. 「アセットの参照」ページを開き、削除するアセットを検索します。
2. 削除するアセットを選択します(「[すべてのバージョン設定されたアセットの参照](#)」を参照してください)。
3. ページ最下部の「処理」ドロップダウン・リストで、「削除」を選択します。
4. ページ最下部の 2 つのドロップダウン・リストから次を選択します。

- 「削除」
- 任意のプロジェクト

注意: 削除を含むすべてのバージョン設定されたアセットに対する操作は、アクティブなプロジェクトのコンテキスト内で実行されます。したがって、アセットを削除するには、まずそのアセットをアクティブなプロジェクトに追加する必要があります。そのプロジェクトのアセットがチェックインされると、バージョン設定されたリポジトリからターゲット・アセットがシステムによって削除されます。

5. 必要に応じて、「プロジェクトに移動」をクリックして、指定されたプロジェクトにアセットが追加されていることを確認します。
6. 「進む」をクリックします。「プロジェクトに移動」を選択すると、プロジェクトの「アセット」タブが表示され、削除されるアセットがリストされます。
7. プロジェクト・アセットがチェックインされると、アセットが削除されます。

注意: シナリオ・アセットの削除では、シナリオの.sdl ファイルのみが削除されます。ACC によって生成され、シナリオへのセキュリティ・アクセスを持つ ACC ロールのリストを保持する、シナリオに対応する.sec ファイルは、削除後もプロジェクトに残り、ターゲット・サーバーに配置されます。

アセットの削除の取り消し

プロジェクト・アセットがチェックインされるまでは、いつでもアセットの削除を取り消せます。チェックイン後は、削除を元に戻せません。

アセットの削除を取り消すには、アセットをプロジェクトから削除します。

1. プロジェクトの「アセット」タブを表示します。
2. アセットを選択します。
3. 「アセットをプロジェクトから削除」をクリックします。

索引

A

ACC

- ATG Content Administration で使用されるロール, 26
- アセットの編集, 37
- プロジェクトの変更, 49
- プロジェクトへの編集済アセットの追加, 38

B

BCC, 8

- 起動, 7
- 「使用可能なプロジェクト」ページ, 8
- ホームページ, 8
- 要件, 7

Business Control Center. 「BCC」を参照

T

「To Do」リスト, 13

W

WWW テキスト・ファイル・アセット・タイプ, 46

WWW バイナリ・ファイル・アセット・タイプ, 45

あ

アセット, 3

- BCC からのダウンロード, 36
- 検索, 32
- サード・パーティ・アプリケーションでの編集, 36
- 削除, 52
- 作成, 32
- シナリオ, 47
- リンク付け, 49
- スロット, 47
- タイプ, 33, 44
- チェックイン, 30, 39
- テキスト・ファイル, 46

バージョンの競合の解決, 40

バージョンのマージ, 41

バージョン番号, 31

バージョン履歴, 50

配置, 42

バイナリ・ファイル, 45

比較, 41

表示, 31, 32

プレビュー, 51

プロジェクトからの削除, 50

プロジェクト内のステータス, 31

プロジェクトへの既存のアセットの追加, 35

プロジェクトへの新規アセットの追加, 34

プロジェクトへの追加, 30, 33

編集, 30, 36

ユーザー・セグメント, 47

ライフサイクル, 29

「アセット」タブ, 31

アセットの比較, 41

「アセットの編集」ワークフロー

タスク, 16

「アセットのマージ」ページ, 41

か

管理コンソール, 9

さ

最新アラートとのマージ, 40

作成タスク, 5

「参照」ページ, 32

し

シナリオ・アセット, 47

プロジェクトへの既存のアセットの追加, 48

プロジェクトへの新規アセットの追加, 47

「使用可能なプロジェクト」ページ, 18

プロジェクトのソート, 18

ロック・アイコン, 19

す

- スロット・アセット, 47
 - プロジェクトへの既存のアセットの追加, 48
 - プロジェクトへの新規アセットの追加, 47

せ

- 「選択したバージョンの比較」オプション, 50

た

- タスク, 3
 - アクセス権, 26
 - 完了, 26
 - 作成, 5
 - 所有権, 26
 - 所有者からのリリース, 25
 - 表示, 23
 - レビュー, 5
 - ワークフロー, 15
 - 割当, 24
- 「タスク」タブ, 23

ち

- チェックイン, 4

て

- テキスト・ファイル・アセット, 46
 - プロジェクトへの新規アセットの追加, 46

の

- ノート
 - プロジェクトへの追加, 20

は

- バージョン管理システム
 - アセットの競合の解決, 40
 - アセットの削除, 52
 - アセットのチェックイン, 39
 - アセット・バージョン, 4
 - アセット・バージョンのマージ, 41
 - アセット・バージョン履歴, 50
- 配置, 4
 - アセット, 42

- バイナリ・ファイル・アセット, 45
 - プロジェクトへの追加, 45

ひ

- 標準ワークフロー, 4

ふ

- プロジェクト, 3, 15
 - ACCでの変更, 49
 - アクティブなプロジェクトの表示, 8
 - アセットの削除, 50
 - アセットの追加, 33
 - アセットの表示, 31
 - アセット・バージョンの競合の解決, 40
 - カスタム・プロパティ, 22
 - 既存のアセットの追加, 35
 - シナリオ, 48
 - スロット, 48
 - 検索, 18
 - 削除, 22
 - 作成, 20
 - 「使用可能なプロジェクト」ページでソート, 18
 - 新規アセットの追加, 34
 - シナリオ, 47
 - スロット, 47
 - テキスト・ファイル, 46
 - バイナリ・ファイル, 45
 - ユーザー・セグメント, 47
 - ステータス, 18
 - チェックイン, 4
 - データの要約, 18
 - ノートの追加, 20
 - 配置, 4
 - 「プロパティ」タブ, 22
 - 編集不可, 19
 - 「履歴」タブ, 20
 - ワークフロー, 4, 15
 - 「プロパティ」タブ, 22

ほ

- ホームページ
 - 「To Do」リスト, 13
 - 概要, 11

ゆ

ユーザー・セグメント・アセット, 47
プロジェクトへの新規アセットの追加, 47

り

「履歴」タブ, 20
アセット, 50

れ

レビュー・タスク, 5

ろ

ルール, ACC, ATG Content Administration で使用される,
26
ロック・アイコン, 19

わ

ワークフロー, 4
緊急, 17
タスク, 15
手順, 4
プロジェクトとの関連付け, 15

